

対象校No.

注4

学校コード F104310100898

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

東北学院大学 地域総合学部 政策デザイン学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

学校法人東北学院  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教学組織改編推進室

職名・氏名 カチヨフ サクライ タク  
課長 櫻井 卓

電話番号 022-264-6328

(夜間) 022-264-6328

e-mail oaor\_2023@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

地域総合学部

＜政策デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教育研究実施組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	58
7. その他全般的事項	59

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人東北学院

## (2) 大学名

東北学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒980-8511

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

〒984-8588

宮城県仙台市若林区清水小路3番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハラダ ヨシノリ) 原田 善教 (令和2年4月)		
学長	(オオニシ ハルキ) 大西 晴樹 (平成31年4月)		
学部長	(イガクラ マサシ) 伊鹿倉 正司 (令和5年4月)		
学科長等	(クロサカ アイ) 黒坂 愛衣 (令和5年4月)	(サトウ シゲル) 佐藤 滋 (令和7年4月)	任期満了のため(7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
地域総合学部 政策デザイン学科 学士（政策学）	経済学関係	4年	145人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	580人	-	経済学部共生社会経済学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	-	1.05倍	1.04倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	741	(-)	615	(-)	730	(-)				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	728	(-)	605	(-)	723	(-)				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	412	(-)	422	(-)	407	(-)				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	153	(-)	152	(-)	156	(-)				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.05	-	1.04	-	1.07	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	153	-	152	-	157	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	150	-	151	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	150	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	153	-	302	-	458	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度未時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	人	人	令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	153 人	2 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	2 人	0 人	進路変更(就職)(2人)
令和6年度	302 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	1 人	0 人	進路変更(他教育機関)(1人)
			令和6年度	人	人	
令和7年度	458 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合計		3 人		3 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{2}{155} = \boxed{1.29} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{303} = \boxed{0.33} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{458} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<地域総合学部 政策デザイン学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
T G ベーシック	人間的基礎	聖書を学ぶ	1前	2								兼1
		キリスト教の歴史と思想	1後	2								兼1
		キリスト教学A	3前・後		2							兼1
		キリスト教学B	3前・後		2							兼1
		キリスト教学C	3前・後		2							兼1
		キリスト教学D	3前・後		2							兼1
	知的基礎	共生社会と倫理	2前・後		2			1	1			兼1
		科学技術社会と倫理	2前・後		2							兼3
		よき社会生活のためにA (法律)	1前・後		2							兼1
		よき社会生活のためにB (福祉)	1前・後		2		1					兼1
		よき社会生活のためにC (健康)	1前・後		2							兼2
		リーディング&ライティング	1前・後		2							兼1
課題探究	クリティカル・シンキング	1前・後		2							兼1	
	情報リテラシー	1前・後		2							兼1	
	統計的思考の基礎	1前・後		2							兼1	
	科学的思考の基礎	1前・後		2							兼6	
	キャリア形成の探究	1前		2							兼1	
	東北学院史の探究	3前・後		2							兼1	
人文系	データ活用による探究	2前・後		2							兼2	
	地域ボランティア活動の探究	1前・後		2							兼1	
	地域課題の探究	2前・後		2							兼1	
	課題探究演習	1後		2							兼2	
	哲学	1前・後		2							兼1	
	芸術論	1前・後		2							兼1	
	文化の歴史	1前・後		2							兼1	
	音楽	1前・後		2							兼1	
	倫理学	1前・後		2							兼1	
	文学	1前・後		2							兼1	
	歴史学	1前・後		2							兼1	
	文化人類学	1前・後		2							兼1	
言語論	1前・後		2							兼1		
社会系	心理学	1前・後		2							兼9	
	社会学	1前・後		2							兼4	
	経営学	1前・後		2							兼2	
	法学	1前・後		2							兼1	
	日本国憲法	1前・後		2							兼1	
	現代の政治	1前・後		2							兼1	
	地理学	1前・後		2							兼3	
	ジェンダー論	1前・後		2							兼1	
	東北地域論	1前・後		2							兼3	
	数理の科学	1前・後		2							兼6	
	記号論理学	1前・後		2							兼1	
	自然系	生命の科学	1前・後		2							兼2
環境の科学		1前・後		2							兼2	
自然の科学		1前・後		2							兼1	
先端科学と技術		1前・後		2							兼3	
AI社会の基礎		1前・後		2							兼4	
小計 (47科目)		—	6	88	0	1	1	1	0	0	兼71	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要科目	単位数			専任教員等の配置					員基幹教員を以て除く	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
T G ベーシック	人間的基礎	聖書を学ぶ	1前	○	2								2
		キリスト教の歴史と思想	1後	○	2								1
		キリスト教学A	3前・後	○		2							1
		キリスト教学B	3前・後	○		2							1
		キリスト教学C	3前・後	○		2							1
		キリスト教学D	3前・後	○		2							1
	知的基礎	共生社会と倫理	2前・後	○		2			1	1	1		2
		科学技術社会と倫理	2前・後	○		2							6
		よき社会生活のためにA (法律)	1前・後	○		2							4
		よき社会生活のためにB (福祉)	1前・後	○		2		1					2
		よき社会生活のためにC (健康)	1前・後	○		2							7
		リーディング&ライティング	1前・後	○		2							14
課題探究	クリティカル・シンキング	1前・後	○		2							4	
	情報リテラシー	1前・後	○	2								1	
	統計的思考の基礎	1前・後	○		2							7	
	科学的思考の基礎	1前・後	○		2							10	
	キャリア形成の探究	1前・後	○		2							3	
	東北学院史の探究	3前・後	○		2							1	
人文系	データ活用による探究	2前・後	○		2							9	
	地域ボランティア活動の探究	1前・後	○		2							4	
	地域課題の探究	2前・後	○		2							4	
	課題探究演習	1後	○		2							22	
	哲学	1前・後	○		2							2	
	芸術論	1前・後	○		2							2	
	文化の歴史	1前・後	○		2							6	
	音楽	1前・後	○		2							3	
	倫理学	1前・後	○		2							3	
	文学	1前・後	○		2							2	
	歴史学	1前・後	○		2							7	
	文化人類学	1前・後	○		2							4	
言語論	1前・後	○		2							2		
社会系	心理学	1前・後	○		2							7	
	社会学	1前・後	○		2		1	1				5	
	経営学	1前・後	○		2							2	
	法学	1前・後	○		2							2	
	日本国憲法	1前・後	○		2							3	
	現代の政治	1前・後	○		2							2	
	地理学	1前・後	○		2							3	
	ジェンダー論	1前・後	○		2							1	
	東北地域論	1前・後	○		2		1					8	
	数理の科学	1前・後	○		2							1	
	記号論理学	1前・後	○		2							1	
	自然系	生命の科学	1前・後	○		2							2
環境の科学		1前・後	○		2			1				2	
自然の科学		1前・後	○		2							4	
先端科学と技術		1前・後	○		2							4	
AI社会の基礎		1前・後	○		2							8	
小計 (47科目)		—	—	6	88	0	3	2	1	0	0	145	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語科目	第1類	英語 I A	1前	1								兼1	
		英語 I B	1後	1								兼1	
		英語 II A	2前	1								兼1	
		英語 II B	2後	1								兼1	
	第2類	ドイツ語 I A	1前		2								兼1
		フランス語 I A	1前		2								兼2
		中国語 I A	1前		2								兼1
		韓国・朝鮮語 I A	1前		2								兼1
		ドイツ語 I B	1後		2								兼1
		フランス語 I B	1後		2								兼2
		中国語 I B	1後		2								兼1
		韓国・朝鮮語 I B	1後		2								兼1
		ドイツ語 II A	2前		1								兼1
		フランス語 II A	2前		1								兼2
		中国語 II A	2前		1								兼1
		韓国・朝鮮語 II A	2前		1								兼1
		ドイツ語コミュニケーション A	2前		1								兼1
		フランス語コミュニケーション A	2前		1								兼1
		中国語コミュニケーション A	2前		1								兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーション A	2前		1								兼1
		ドイツ語 II B	2後		1								兼1
		フランス語 II B	2後		1								兼2
		中国語 II B	2後		1								兼1
		韓国・朝鮮語 II B	2後		1								兼1
		ドイツ語コミュニケーション B	2後		1								兼1
		フランス語コミュニケーション B	2後		1								兼2
		中国語コミュニケーション B	2後		1								兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーション B	2後		1								兼1
		ドイツ語 III A	3前		1								兼1
		フランス語 III A	3前		1								兼2
		中国語 III A	3前		1								兼1
	韓国・朝鮮語 III A	3前		1								兼1	
	ドイツ語 III B	3後		1								兼1	
フランス語 III B	3後		1								兼2		
中国語 III B	3後		1								兼1		
韓国・朝鮮語 III B	3後		1								兼1		
第3類	ベーシック英語	1前・1後			1							兼1	
	英語コミュニケーション	3前		2								兼1	
	英語 III A	3前		1								兼1	
	英語 III B	3後		1								兼1	
	小計 (40科目)	—	4	44	1	0	0	0	0	0	0	兼12	
保健目体育	スポーツ実技 A	1前・1後		1								兼1	
	スポーツ実技 B	1前・1後		1								兼1	
	体育講義	1前・1後		2								兼2	
	小計 (3科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
留学科目	海外研究 A	2通		4								兼1	
	海外研究 B	1後		2								兼1	
	海外研究 C	1後		1								兼1	
	小計 (3科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要科目	単位数			基幹教員等の配置					員数 助教 助手 以外の 教		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語科目	第1類	英語 I A	1前	○	1								13	
		英語 I B	1後	○	1								13	
		英語 II A	2前	○	1								13	
		英語 II B	2後	○	1								13	
	第2類	ドイツ語 I A	1前	○		2								5
		フランス語 I A	1前	○		2								5
		中国語 I A	1前	○		2								6
		韓国・朝鮮語 I A	1前	○		2								5
		ドイツ語 I B	1後	○		2								3
		フランス語 I B	1後	○		2								5
		中国語 I B	1後	○		2								5
		韓国・朝鮮語 I B	1後	○		2								4
		ドイツ語 II A	2前	○		1								1
		フランス語 II A (未開講)	2前	○		1								1
		中国語 II A (未開講)	2前	○		1								1
		韓国・朝鮮語 II A	2前	○		1								1
		ドイツ語コミュニケーション A	2前	○		1								1
		フランス語コミュニケーション A	2前	○		1								1
		中国語コミュニケーション A	2前	○		1								1
		韓国・朝鮮語コミュニケーション A (未開講)	2前	○		1								1
		ドイツ語 II B	2後	○		1								1
		フランス語 II B (未開講)	2後	○		1								1
		中国語 II B (未開講)	2後	○		1								1
		韓国・朝鮮語 II B	2後	○		1								1
		ドイツ語コミュニケーション B	2後	○		1								1
		フランス語コミュニケーション B	2後	○		1								1
		中国語コミュニケーション B	2後	○		1								1
		韓国・朝鮮語コミュニケーション B (未開講)	2後	○		1								1
		ドイツ語 III A (未開講)	3前	○		1								1
		フランス語 III A (未開講)	3前	○		1								1
		中国語 III A (未開講)	3前	○		1								1
	韓国・朝鮮語 III A (未開講)	3前	○		1								1	
	ドイツ語 III B (未開講)	3後	○		1								1	
フランス語 III B (未開講)	3後	○		1								1		
中国語 III B (未開講)	3後	○		1								1		
韓国・朝鮮語 III B (未開講)	3後	○		1								1		
第3類	ベーシック英語	1前・1後	○		1								1	
	英語コミュニケーション	3前	○		2								6	
	英語 III A (未開講)	3前	○		1								1	
	英語 III B (未開講)	3後	○		1								2	
	小計 (40科目)	—	—	4	44	1	0	0	0	0	0	0	49	
保健目体育	スポーツ実技 A	1前・1後	○		1								5	
	スポーツ実技 B	1前・1後	○		1								8	
	体育講義	1前・1後	○		2								2	
	小計 (3科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	13	
留学科目	海外研究 A (未開講)	2通	○		4								1	
	海外研究 B (未開講)	1後	○		2								1	
	海外研究 C (未開講)	1後	○		1								1	
	小計 (3科目)	—	—	0	7	0	0	0	0	0	0	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
婦外国生人科及び	日本語 I A	1前	1								兼1
	日本語 I B	1後	1								兼1
	日本語 II A	2前	1								兼1
	日本語 II B	2後	1								兼1
	小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0
専門基盤科目	SDGs概論	1前	2			1					
	経済学 I	1前	2		1						
	経済学 II	1後	2		1						
	公共経営論	1後	2		1						
	政治経済学 I	2前	2								兼1
	政治経済学 II	2後	2								兼1
	政策形成論	2前	2		1						
	政策評価論	2後	2		1						
	福祉国家論	2前	2				1				
	公共哲学 I	2前	2				1				
	公共哲学 II	2後	2				1				
	企業倫理 I	2前	2								兼1
	企業倫理 II	2後	2								兼1
	地域社会論	2前	2								兼1
共同体と市民社会	2後	2								兼1	
専門科目	社会保険論	1前	2		1						
	財政入門	1後	2		1						
	政治学入門	1後	2				1				
	社会保険論	2後	2		1						
	地方財政論	3前	2		1						
	格差社会論	3前	2		1						兼3
	社会福祉原論	3前	2				1				
	労働政策論	3後	2			1					
	環境政策論	3前	2		1						
	公的扶助論	3後	2				1				
	公共政策分析	3前	2		1						
	福祉政策と地域	3後	2				1				
	地方自治論	3前	2								兼1
	行政学	3前	2								兼1
領域専門科目	地域産業論	1前	2								兼1
	金融入門	1後	2		1						
	グローバル時代の労働問題入門	2前	2			1					
	地域経済データ分析	2前	2		1						
	地域企業経営論	2後	2		1						
	加齢経済論 I	2前	2								兼1
	国際貿易論	2前	2								兼1
	加齢経済論 II	3後	2								兼1
	地域金融論	3前	2		1						
	地域観光論	3前	2		1						
	社会と開発	3後	2				1				
	労働経済論	3前	2			1					
	日本経済論	3前	2								兼1
	日本産業論	3後	2								兼1
地域政策論	3前	2								兼1	
東北経済論	3前	2								兼1	
東北開発論	3後	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要科目	単位数				基幹教員等の配置				員数 （専任・兼任 以外）
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
婦外国生人科及び	日本語 I A (未開講)	1前	○		1							1
	日本語 I B (未開講)	1後	○		1							1
	日本語 II A (未開講)	2前	○		1							1
	日本語 II B (未開講)	2後	○		1							1
	小計 (4科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0
専門基盤科目	SDGs概論	1前	○	2			1					
	経済学 I	1前	○		2		1					
	経済学 II	1後	○		2		1					
	公共経営論	1後	○		2		1					
	政治経済学 I	2前	○		2							1
	政治経済学 II	2後	○		2							1
	政策形成論	2前	○		2		1					
	政策評価論	2後	○		2		1					
	福祉国家論	2前	○		2				1			
	公共哲学 I	2前	○		2				1			
	公共哲学 II	2後	○		2				1			
	企業倫理 I	2前	○		2							1
	企業倫理 II	2後	○		2							1
	地域社会論	2前	○		2							1
共同体と市民社会	2後	○		2							1	
専門科目	社会保険論	1前	○		2		1					
	財政入門	1後	○		2		1					
	政治学入門	1前	○		2				1			
	社会保険論	2後	○		2		1					
	地方財政論	3前	○		2		1					
	格差社会論	3前	○		2		1					4
	社会福祉原論	3前	○		2				1			
	労働政策論	3後	○		2				1			
	環境政策論	3前	○		2		1					
	公的扶助論	3後	○		2				1			
	公共政策分析	3前	○		2		1					
	福祉政策と地域	3後	○		2				1			
	地方自治論	3前	○		2							1
	行政学	3前	○		2							1
領域専門科目	地域産業論	1前	○		2							1
	金融入門	1後	○		2		1					
	グローバル時代の労働問題入門	2前	○		2			1				
	地域経済データ分析	2前	○		2		1					
	地域企業経営論	2後	○		2		1					
	加齢経済論 I	2前	○		2							1
	国際貿易論	2前	○		2							1
	加齢経済論 II	3後	○		2							1
	地域金融論	3前	○		2		1					
	地域観光論	3前	○		2		1					
	社会と開発	3後	○		2				1			
	労働経済論	3前	○		2				1			
	日本経済論	3前	○		2							1
	日本産業論	3後	○		2							1
地域政策論	3前	○		2							1	
東北経済論	3前	○		2							1	
東北開発論	3後	○		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
領域専門科目	現代社会問題論	1前	2			1						
	日常生活とジェンダー	1後	2			1						
	災害社会論	2前	2			1						
	多文化共生論	2後	2			1						
	ジェンダーと政策	3前	2			1						
	人権政策論	3後	2			1						
	災害ボランティア・NPO論	3後	2			1						
	シティズンシップ論	3前	2			1						
	地域防災・減災論	3前	2			1						
	復興まちづくり論	3後	2			1						
専門科目	障害学	3前	2									兼1
	災害とマイノリティ	3後	2									兼1
	基礎演習	1前	2			6	4	3				
	演習Ⅰ	3通	4			7	5	3				
	演習Ⅱ	4通	4			7	5	3				
	政策デザイン実習Ⅰ	2前	2			2	1					
	政策デザイン実習Ⅱ	2後	2			2	1					
	地域プロジェクト実習	3通	4			1						
	特殊講義	2前	2						1			
	卒業研究	4後	2			7	5	3				
専門関連科目	憲法Ⅰ	2前	2									兼1
	憲法Ⅱ	2後	2									兼1
	民法総論	2後	2									兼1
	行政法総論	3前	2									兼1
	労働法	3前	2									兼1
	商法	3前	2									兼1
	家族法	3前	2									兼1
社会保険法	4前	2									兼1	
小計(74科目)	—	6	148	0	7	5	3	0	0		兼21	
教職教育に職関員寸免許状の科目	日本史概論	1前・1後	2									兼1
	外国史概論	1前・1後	2									兼1
	地理学概論	1前	2									兼1
	地誌学概論	1前	2									兼1
	民俗学Ⅰ	1前	2									兼1
	民俗学Ⅱ	1後	2									兼1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0		兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要科目	単位数				基幹教員等の配置				員基幹助教手以外の教	
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
領域専門科目	現代社会問題論	1前	○			2			1				
	日常生活とジェンダー	1後	○			2			1				
	災害社会論	2前	○			2			1				
	多文化共生論	2後	○			2			1				
	ジェンダーと政策	3前	○			2			1				
	人権政策論	3後	○			2			1				
	災害ボランティア・NPO論	3後	○			2			1				
	シティズンシップ論	3前	○			2			1				
	地域防災・減災論	3前	○			2			1				
	復興まちづくり論	3後	○			2			1				
専門科目	障害学	3前	○			2							1
	災害とマイノリティ	3後	○			2							1
	基礎演習	1前	○	2					7	6	2		
	演習Ⅰ	3通	○			4			7	6	2		
	演習Ⅱ	4通	○			4			7	6	2		
	政策デザイン実習Ⅰ	2前	○			2			2	3			
	政策デザイン実習Ⅱ	2後	○			2			4	1	1		
	地域プロジェクト実習	3通	○			4			1				
	特殊講義	2前	○			2					1		
	卒業研究	4後	○	2					7	6	2		
専門関連科目	憲法Ⅰ	2後	○			2							1
	憲法Ⅱ	2後	○			2							1
	民法総論	2前	○			2							1
	行政法総論	3前	○			2							1
	労働法	3前	○			2							1
	商法	3前	○			2							1
	家族法	3前	○			2							1
社会保険法	4前	○			2							1	
小計(75科目)	—	—	6	148	0	7	6	2	0	0	0	28	
教職教育に職関員寸免許状の科目	日本史概論	1前・1後				2							1
	外国史概論	1前・1後				2							1
	地理学概論	1前				2							1
	地誌学概論	1前				2							1
	民俗学Ⅰ	1前				2							1
	民俗学Ⅱ	1後				2							1
小計(6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職等に関する科目	教育基礎論	1前		2								兼1
	現代教職論	1前・後		2								兼1
	教育の制度と経営	1後		2								兼1
	教育心理学	2前・後		2								兼2
	特別支援教育論	3前・後		2								兼1
	教育課程論	2前		2								兼1
	道徳教育の理論と方法	2前・後		2								兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3前・後		2								兼2
	教育の方法と技術	2前・後		2								兼1
	ICT活用の理論と方法	3前・後		2								兼1
	生徒指導・進路指導の理論と方法	3前・後		2								兼2
	教育相談の理論と方法	2前・後		2								兼1
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	2後		2								兼1
	社会・公民科教育法(概論・理論)	2後		2								兼1
	社会・地理歴史科教育法(実践)	3後		2								兼1
	社会・公民科教育法(実践)	3後		2								兼1
	社会・地理歴史科教育法(応用)	3前		2								兼1
	社会・公民科教育法(応用)	3前		2								兼1
	教育実習Ⅰ	4通		3								兼1
	教育実習Ⅱ	4通		2								兼1
	教職実践演習(中・高)	4後		2								兼7
	介護体験実習	3通		2								兼1
小計(22科目)		—	0	45	0	0	0	0	0	0	0	兼11
合計(199科目)		—	16	352	1	7	5	3	0	0	0	兼115
卒業・修了要件及び履修方法												
<p>教養教育科目から34単位、外国語科目から4単位、専門科目から52単位、その他選択科目から34単位以上を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGベーシック区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA(法律)」、「よき社会生活のためにB(福祉)」、「よき社会生活のためにC(健康)」から2単位選択必修、「リーディング&amp;ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。</p> <p>【履修登録上の制限】 1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位とし、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要科目	単位数			基幹教員等の配置					員数 助教 助手 以外の 教	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職等に関する科目	教育基礎論	1前			2								1
	現代教職論	1前・後			2								1
	教育の制度と経営	1後			2								1
	教育心理学	2前・後			2								2
	特別支援教育論	3前・後			2								1
	教育課程論	2前			2								1
	道徳教育の理論と方法	2前・後			2								1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3前・後			2								2
	教育の方法と技術	2前・後			2								3
	ICT活用の理論と方法	3前・後			2								1
	生徒指導・進路指導の理論と方法	3前・後			2								2
	教育相談の理論と方法	2前・後			2								1
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	2後			2								1
	社会・公民科教育法(概論・理論)	2後			2								1
	社会・地理歴史科教育法(実践)	3後			2								1
	社会・公民科教育法(実践)	3後			2								1
	社会・地理歴史科教育法(応用)	3前			2								1
	社会・公民科教育法(応用)	3前			2								1
	教育実習Ⅰ	4通			3								1
	教育実習Ⅱ	4通			2								1
	教職実践演習(中・高)	4後			2								7
	介護体験実習	3通			2								3
小計(22科目)		—	—	0	45	0	0	0	0	0	0	0	15
合計(199科目)		—	—	16	352	1	7	6	2	0	0	0	235
卒業・修了要件及び履修方法													
<p>教養教育科目から34単位、外国語科目から4単位、専門科目から52単位、その他選択科目から34単位以上を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGベーシック区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA(法律)」、「よき社会生活のためにB(福祉)」、「よき社会生活のためにC(健康)」から2単位選択必修、「リーディング&amp;ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。</p> <p>【履修登録上の制限】 1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位とし、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。</p>													

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人間的基礎	聖書を学ぶ	1前	2								兼2
		キリスト教の歴史と思想	1後	2								兼1
		キリスト教学A	3前・後	2								兼1
		キリスト教学B	3前・後	2								兼1
		キリスト教学C	3前・後	2								兼1
		キリスト教学D	3前・後	2								兼1
		共生社会と倫理	2前・後	2			1	1	1			兼2
		科学技術社会と倫理	2前・後	2								兼6
		よき社会生活のためにA(法律)	1前・後	2								兼4
	よき社会生活のためにB(福祉)	1前・後	2			1					兼2	
	よき社会生活のためにC(健康)	1前・後	2								兼8	
	知的基礎	リーディング&ライティング	1前・後	2								兼15
		クリティカル・シンキング	1前・後	2								兼3
		情報リテラシー	1前・後	2								兼1
	課題探究	統計的思考の基礎	1前・後	2								兼6
		科学的思考の基礎	1前・後	2								兼11
		キャリア形成の探究	1前・後	2								兼4
		東北学院史の探究	2前・後	2								兼1
		データ活用による探究	2前・後	2								兼2
		地域ボランティア活動の探究	2前・後	2								兼4
	人文系	地域課題の探究	2前・後	2								兼1
		課題探究演習	1後	2				1				兼20
		哲学	1前・後	2								兼3
		芸術論	1前・後	2								兼3
		文化の歴史	1前・後	2								兼6
		音楽	1前・後	2								兼2
		倫理学	1前・後	2								兼3
文学		1前・後	2								兼2	
歴史学		1前・後	2								兼7	
社会系	文化人類学	1前・後	2								兼4	
	言語論	1前・後	2								兼2	
	心理学	1前・後	2								兼7	
	社会学	1前・後	2				2				兼5	
	経営学	1前・後	2								兼2	
	法学	1前・後	2								兼2	
	日本国憲法	1前・後	2								兼3	
	現代の政治	1前・後	2								兼3	
	地理学	1前・後	2								兼3	
	ジェンダー論	1前・後	2								兼1	
自然系	東北地域論	1前・後	2			1					兼9	
	教理の科学	1前・後	2								兼3	
	記号論理学	1前・後	2								兼1	
	生命の科学	1前・後	2								兼2	
	環境の科学	1前・後	2				1				兼3	
	自然の科学	1前・後	2								兼5	
先端科学と技術	1前・後	2								兼4		
AI社会の基礎	1前・後	2								兼8		
小計(47科目)	—	6	88	0	2	2	1	0	0		兼166	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人間的基礎	聖書を学ぶ	1前	2								兼2
		キリスト教の歴史と思想	1後	2								兼1
		キリスト教学A	3前・後	2								兼1
		キリスト教学B	3前・後	2								兼1
		キリスト教学C	3前・後	2								兼1
		キリスト教学D	3前・後	2								兼1
		共生社会と倫理	2前・後	2				1	1			兼1
		科学技術社会と倫理	2前・後	2								兼3
		よき社会生活のためにA(法律)	1前・後	2								兼5
	よき社会生活のためにB(福祉)	1前・後	2			1					兼2	
	よき社会生活のためにC(健康)	1前・後	2								兼9	
	知的基礎	リーディング&ライティング	1前・後	2								兼16
		クリティカル・シンキング	1前・後	2								兼3
		情報リテラシー	1前・後	2								兼1
	課題探究	統計的思考の基礎	1前・後	2								兼7
		科学的思考の基礎	1前・後	2								兼12
		キャリア形成の探究	1前・後	2								兼4
		東北学院史の探究	2前・後	2								兼1
		データ活用による探究	2前・後	2								兼2
		地域ボランティア活動の探究	2前・後	2								兼4
	人文系	地域課題の探究	2前・後	2								兼1
		課題探究演習	1後	2					1			兼17
		哲学	1前・後	2								兼3
		芸術論	1前・後	2								兼3
		文化の歴史	1前・後	2								兼6
		音楽	1前・後	2								兼2
		倫理学	1前・後	2								兼3
文学		1前・後	2								兼2	
歴史学		1前・後	2								兼7	
社会系	文化人類学	1前・後	2								兼3	
	言語論	1前・後	2								兼2	
	心理学	1前・後	2								兼10	
	社会学	1前・後	2					1			兼7	
	経営学	1前・後	2								兼2	
	法学	1前・後	2								兼4	
	日本国憲法	1前・後	2								兼4	
	現代の政治	1前・後	2								兼5	
	地理学	1前・後	2								兼4	
	ジェンダー論	1前・後	2								兼1	
自然系	東北地域論	1前・後	2					1			兼9	
	教理の科学	1前・後	2								兼8	
	記号論理学	1前・後	2								兼1	
	生命の科学	1前・後	2								兼2	
	環境の科学	1前・後	2					1			兼4	
	自然の科学	1前・後	2								兼5	
先端科学と技術	1前・後	2								兼6		
AI社会の基礎	1前・後	2								兼9		
小計(47科目)	—	6	88	0	2	2	1	1	0	0	兼166	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語科目	第1類	英語 I A	1前	1								兼13	
		英語 I B	1後	1								兼13	
		英語 II A	2前	1								兼12	
		英語 II B	2後	1								兼12	
	第2類	ドイツ語 I A	1前		2								兼6
		フランス語 I A	1前		2								兼4
		中国語 I A	1前		2								兼5
		韓国・朝鮮語 I A	1前		2								兼5
		ドイツ語 I B	1後		2								兼4
		フランス語 I B	1後		2								兼4
		中国語 I B	1後		2								兼5
		韓国・朝鮮語 I B	1後		2								兼4
		ドイツ語 II A	2前		1								兼1
		フランス語 II A	2前		1								兼1
		中国語 II A	2前		1								兼2
		韓国・朝鮮語 II A	2前		1								兼1
		ドイツ語コミュニケーションA	2前		1								兼1
		フランス語コミュニケーションA	2前		1								兼1
		中国語コミュニケーションA	2前		1								兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	2前		1								兼1
		ドイツ語 II B	2後		1								兼1
		フランス語 II B	2後		1								兼1
		中国語 II B	2後		1								兼1
		韓国・朝鮮語 II B	2後		1								兼1
		ドイツ語コミュニケーションB	2後		1								兼1
		フランス語コミュニケーションB	2後		1								兼1
		中国語コミュニケーションB	2後		1								兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	2後		1								兼1
		ドイツ語 III A	3前		1								兼1
		フランス語 III A	3前		1								兼2
		中国語 III A	3前		1								兼1
	韓国・朝鮮語 III A	3前		1								兼1	
	ドイツ語 III B	3後		1								兼1	
フランス語 III B	3後		1								兼2		
中国語 III B	3後		1								兼1		
韓国・朝鮮語 III B	3後		1								兼1		
第3類	ベーシック英語	1前			1							兼1	
	英語コミュニケーション	1前・1後		2								兼3	
	英語 III A	3前		1								兼1	
	英語 III B	3後		1								兼1	
	小計 (40科目)	—	4	44	1	0	0	0	0	0	0	兼46	
保健目体育	スポーツ実技A	1前・1後		1								兼5	
	スポーツ実技B	1前・1後		1								兼6	
	体育講義	1前・1後		2								兼2	
	小計 (3科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼12	
留学科目	海外研究A (未開講)	2通		4								兼1	
	海外研究B (未開講)	1後		2								兼1	
	海外研究C (未開講)	1後		1								兼1	
	小計 (3科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語科目	第1類	英語 I A	1前	1								兼12	
		英語 I B	1後	1								兼12	
		英語 II A	2前	1								兼1	
		英語 II B	2後	1								兼1	
	第2類	ドイツ語 I A	1前		2								兼9
		フランス語 I A	1前		2								兼7
		中国語 I A	1前		2								兼11
		韓国・朝鮮語 I A	1前		2								兼8
		ドイツ語 I B	1後		2								兼8
		フランス語 I B	1後		2								兼5
		中国語 I B	1後		2								兼8
		韓国・朝鮮語 I B	1後		2								兼3
		ドイツ語 II A	2前		1								兼1
		フランス語 II A	2前		1								兼2
		中国語 II A	2前		1								兼1
		韓国・朝鮮語 II A	2前		1								兼1
		ドイツ語コミュニケーションA	2前		1								兼1
		フランス語コミュニケーションA	2前		1								兼1
		中国語コミュニケーションA	2前		1								兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	2前		1								兼1
		ドイツ語 II B	2後		1								兼1
		フランス語 II B	2後		1								兼2
		中国語 II B	2後		1								兼1
		韓国・朝鮮語 II B	2後		1								兼1
		ドイツ語コミュニケーションB	2後		1								兼1
		フランス語コミュニケーションB	2後		1								兼2
		中国語コミュニケーションB	2後		1								兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	2後		1								兼1
		ドイツ語 III A	3前		1								兼1
		フランス語 III A	3前		1								兼2
		中国語 III A	3前		1								兼1
	韓国・朝鮮語 III A	3前		1								兼1	
	ドイツ語 III B	3後		1								兼1	
フランス語 III B	3後		1								兼2		
中国語 III B	3後		1								兼1		
韓国・朝鮮語 III B	3後		1								兼1		
第3類	ベーシック英語	1前			1							兼1	
	英語コミュニケーション	1前・1後		2								兼2	
	英語 III A	3前		1								兼1	
	英語 III B	3後		1								兼1	
	小計 (40科目)	—	4	44	1	0	0	0	0	0	0	兼51	
保健目体育	スポーツ実技A	1前・1後		1								兼5	
	スポーツ実技B	1前・1後		1								兼7	
	体育講義	1前・1後		2								兼1	
	小計 (3科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼12	
留学科目	海外研究A	2通		4								兼1	
	海外研究B	1後		2								兼1	
	海外研究C	1後		1								兼1	
	小計 (3科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
外国人学生及び	日本語 I A	1前		1								兼1
	日本語 I B	1後		1								兼1
	日本語 II A	2前		1								兼1
	日本語 II B	2後		1								兼1
	小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
専門基礎科目	SDGs概論	1前	2			1						
	経済学 I	1前	2		1							
	経済学 II	1後	2		1							
	公共経営論	1後	2		1							
	政治経済学 I	2前	2									兼1
	政治経済学 II	2前	2									兼1
	政策形成論	2後	2		1							
	政策評価論	2後	2		1							
	福祉国家論	2前	2				1					
	公共哲学 I	2前	2				1					
	公共哲学 II	2後	2				1					
	企業倫理 I	2前	2									兼1
	企業倫理 II	2後	2									兼1
	地域社会論	2前	2									兼1
共同体と市民社会	2前	2									兼1	
専門科目	社会保障論	1前	2		1							
	財政入門	1後	2		1							
	政治学入門	1前	2				1					
	社会保険論	2後	2		1							
	地方財政論	3後	2		1							
	格差社会論	3前	2		1							兼3
	社会福祉原論	3前	2				1					
	労働政策論	3後	2		1							
	環境政策論	3前	2		1							
	公的扶助論	3後	2				1					
	公共政策分析	3前	2		1							
	福祉政策と地域	3後	2						1			
	地方自治論	3前	2									兼1
	行政学	3前	2									兼1
領域専門科目	地域産業論	1前	2									兼1
	金融入門	1後	2		1							
	グローバル時代の労働問題入門	2前	2			1						
	地域経済データ分析	2前	2		1							
	地域企業経営論	2後	2		1							
	加齢経済論 I	2前	2									兼1
	国際貿易論	2前	2									兼1
	加齢経済論 II	3後	2									兼1
	地域金融論	3前	2		1							
	地域観光論	3前	2		1							
	社会と開発	3後	2				1					
	労働経済論	3前	2				1					
	日本経済論	3前	2									兼1
	日本産業論	3後	2									兼1
地域政策論	3前	2									兼1	
東北経済論	3前	2									兼1	
東北開発論	3後	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
外国人学生及び	日本語 I A	1前		1								
	日本語 I B	1後		1								
	日本語 II A	2前		1								
	日本語 II B	2後		1								
	小計 (4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
専門基礎科目	SDGs概論	1前	2			1						
	経済学 I	1前	2		1							
	経済学 II	1後	2		1							
	公共経営論	1後	2		1							
	政治経済学 I	2前	2									兼1
	政治経済学 II	2前	2									兼1
	政策形成論	2後	2		1							
	政策評価論	2後	2		1							
	福祉国家論	2前	2				1					
	公共哲学 I	2前	2				1					
	公共哲学 II	2後	2				1					
	企業倫理 I	2前	2									兼1
	企業倫理 II	2後	2									兼1
	地域社会論	2前	2									兼1
共同体と市民社会	2後	2									兼1	
専門科目	社会保障論	1前	2		1							
	財政入門	1後	2		1							
	政治学入門	1後	2				1					
	社会保険論	2後	2		1					1		
	地方財政論	3後	2		1							
	格差社会論	3前	2		1							兼3
	社会福祉原論	3前	2				1					
	労働政策論	3後	2		1							
	環境政策論	3前	2		1							
	公的扶助論	3後	2				1					
	公共政策分析	3前	2		1							
	福祉政策と地域	3後	2							1		
	地方自治論	3前	2									兼1
	行政学	3前	2									兼1
領域専門科目	地域産業論	1前	2									兼1
	金融入門	1後	2		1							
	グローバル時代の労働問題入門	2前	2			1						
	地域経済データ分析	2前	2		1							
	地域企業経営論	2後	2		1							
	加齢経済論 I	2前	2									兼1
	国際貿易論	2前	2									兼1
	加齢経済論 II	3後	2									兼1
	地域金融論	3前	2		1							
	地域観光論	3前	2		1							
	社会と開発	3後	2				1					
	労働経済論	3前	2				1					
	日本経済論	3前	2									兼1
	日本産業論	3後	2									兼1
地域政策論	3前	2									兼1	
東北経済論	3前	2									兼1	
東北開発論	3後	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
領域専門科目	現代社会問題論	1前		2		1						
	日常生活とジェンダー	1後		2			1					
	災害社会論	2前		2			1					
	多文化共生論	2後		2		1						
	ジェンダーと政策	3前		2			1					
	人権政策論	3後		2			1					
	災害ボランティア・NPO論	3後		2			1					
	シティズンシップ論	3前		2		1						
	地域防災・減災論	3前		2			1					
	復興まちづくり論	3後		2			1					
	障害学	3前		2								兼1
	災害とマイノリティ	3後		2								兼1
専門科目	基礎演習	1前	2			7	6	2				
	演習Ⅰ	3通		4		7	6	2				
	演習Ⅱ	4通		4		7	6	2				
	政策デザイン実習Ⅰ	2前		2		1	3					
	政策デザイン実習Ⅱ	2後		2		3	1					
	地域プロジェクト実習	3通		4								
	特殊講義	2前		2					1			
	卒業研究	4後	2			7	6	2				
	憲法Ⅰ	2後		2								兼1
	憲法Ⅱ	2後		2								兼1
専門関連科目	民法総論	2前		2								兼1
	行政法総論	3前		2								兼1
	労働法	3前		2								兼1
	商法	3前		2								兼1
	民法	3前		2								兼1
	家族法	3前		2								兼1
	社会保障法	4前		2								兼1
	小計(75科目)	—	6	148	0	7	6	2	0	0	0	兼21
教教育に職員免状の科目の	日本史概論	1前・1後		2								兼1
	外国史概論	1前・1後		2								兼1
	地理学概論	1前		2								兼1
	地誌学概論	1前		2								兼1
	民俗学Ⅰ	1前		2								兼1
	民俗学Ⅱ	1後		2								兼1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
領域専門科目	現代社会問題論	1前		2								
	日常生活とジェンダー	1後		2				1				
	災害社会論	2前		2				1				
	多文化共生論	2後		2		1						
	ジェンダーと政策	3前		2			1					
	人権政策論	3後		2			1					
	災害ボランティア・NPO論	3後		2			1					
	シティズンシップ論	3前		2		1						
	地域防災・減災論	3前		2			1					
	復興まちづくり論	3後		2			1					
	障害学	3前		2								兼1
	災害とマイノリティ	3後		2								兼1
専門科目	基礎演習	1前	2			6	5	2				
	演習Ⅰ	3通		4		7	6	2				
	演習Ⅱ	4通		4		7	6	2				
	政策デザイン実習Ⅰ	2前		2		2	3					
	政策デザイン実習Ⅱ	2後		2		2	1					
	地域プロジェクト実習	3通		4		1						
	特殊講義	2前		2					1			
	卒業研究	4後	2			7	6	2				
	憲法Ⅰ	2前		2								兼1
	憲法Ⅱ	2後		2								兼1
専門関連科目	民法総論	2後		2								兼1
	行政法総論	3前		2								兼1
	労働法	3前		2								兼1
	商法	3前		2								兼1
	民法	3前		2								兼1
	家族法	3前		2								兼1
	社会保障法	4前		2								兼1
	小計(74科目)	—	6	148	0	7	6	2	0	0	0	兼21
教教育に職員免状の科目の	日本史概論	1前・1後		2								兼1
	外国史概論	1前・1後		2								兼1
	地理学概論	1前		2								兼1
	地誌学概論	1前		2								兼1
	民俗学Ⅰ	1前		2								兼1
	民俗学Ⅱ	1後		2								兼1
小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
教職等に 関する 科目	教育基礎論	1前		2							兼1
	現代教職論	1前・後		2							兼1
	教育の制度と経営	1後		2							兼1
	教育心理学	2前・後		2							兼2
	特別支援教育論	3前・後		2							兼1
	教育課程論	2前		2							兼1
	道徳教育の理論と方法	2前・後		2							兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3前・後		2							兼2
	教育の方法と技術	2前・後		2							兼1
	ICT活用の理論と方法	3前・後		2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論と方法	2前・後		2							兼2
	教育相談の理論と方法	2前・後		2							兼1
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	2後		2							兼1
	社会・公民科教育法(概論・理論)	2後		2							兼1
	社会・地理歴史科教育法(実践)	3後		2							兼1
	社会・公民科教育法(実践)	3後		2							兼1
	社会・地理歴史科教育法(応用)	3前		2							兼1
	社会・公民科教育法(応用)	3前		2							兼1
	教育実習Ⅰ	4通		3							兼1
	教育実習Ⅱ	4通		2							兼1
	教職実践演習(中・高)	4後		2							兼7
	介護体験実習	3通		2							兼1
小計(22科目)	—	0	45	0	0	0	0	0	0	0	兼11
合計(199科目)	—	16	352	1	7	6	2	0	0	0	兼233

卒業・修了要件及び履修方法

教養教育科目から34単位、外国語科目から4単位、専門科目から52単位、その他選択科目から34単位以上を修得し、124単位以上修得すること。  
 なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGベースック区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA(法律)」、「よき社会生活のためにB(福祉)」、「よき社会生活のためにC(健康)」から2単位選択必修、「リーディング&ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。

【履修登録上の制限】

1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位とし、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
教職等に 関する 科目	教育基礎論	1前		2							兼1
	現代教職論	1前・後		2							兼1
	教育の制度と経営	1後		2							兼1
	教育心理学	2前・後		2							兼2
	特別支援教育論	3前・後		2							兼1
	教育課程論	2前		2							兼1
	道徳教育の理論と方法	2前・後		2							兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3前・後		2							兼2
	教育の方法と技術	2前・後		2							兼1
	ICT活用の理論と方法	3前・後		2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論と方法	2前・後		2							兼2
	教育相談の理論と方法	2前・後		2							兼1
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	2後		2							兼1
	社会・公民科教育法(概論・理論)	2後		2							兼1
	社会・地理歴史科教育法(実践)	3後		2							兼1
	社会・公民科教育法(実践)	3後		2							兼1
	社会・地理歴史科教育法(応用)	3前		2							兼1
	社会・公民科教育法(応用)	3前		2							兼1
	教育実習Ⅰ	4通		3							兼1
	教育実習Ⅱ	4通		2							兼1
	教職実践演習(中・高)	4後		2							兼7
	介護体験実習	3通		2							兼1
小計(22科目)	—	0	45	0	0	0	0	0	0	0	兼11
合計(199科目)	—	16	352	1	7	6	2	0	0	0	兼245

卒業・修了要件及び履修方法

教養教育科目から34単位、外国語科目から4単位、専門科目から52単位、その他選択科目から34単位以上を修得し、124単位以上修得すること。  
 なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGベースック区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA(法律)」、「よき社会生活のためにB(福祉)」、「よき社会生活のためにC(健康)」から2単位選択必修、「リーディング&ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。

【履修登録上の制限】

1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位とし、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を赤字としてください。  
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- 履修者数増加の理由により開講コマを増やしたため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
  - 「英語コミュニケーション」兼1→2
  - 「スポーツ実技A」兼1→5
  - 「スポーツ実技B」兼1→7
- 統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
  - 「よき社会生活のためにA（法律）」兼1→5
  - 「よき社会生活のためにB（福祉）」兼0→2
  - 「よき社会生活のためにC（健康）」兼2→9
  - 「リーディング&ライティング」兼1→16
  - 「クリティカル・シンキング」兼1→3
  - 「統計的思考の基礎」兼1→7
  - 「科学的思考の基礎」兼6→12
  - 「地域ボランティア活動の探究」兼1→4
  - 「哲学」兼1→3
  - 「芸術論」兼1→3
  - 「文化の歴史」兼1→6
  - 「音楽」兼1→2
  - 「倫理学」兼1→3
  - 「文学」兼1→2
  - 「歴史学」兼1→7
  - 「文化人類学」兼1→3
  - 「言語論」兼1→2
  - 「法学」兼1→4
  - 「現代の政治」兼1→5
  - 「日本国憲法」兼1→4
  - 「地理学」兼3→4
  - 「数理の科学」兼6→8
  - 「自然科学」兼1→5
  - 「先端科学と技術」兼3→6
  - 「AI社会の基礎」兼4→9
- 統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
  - 「課題探究演習」准教授0→1、兼2→17
  - 「社会学」准教授0→1、兼4→7
  - 「東北地域論」教授0→1、兼3→9
  - 「環境の科学」准教授0→1、兼2→4
- 統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより、次の科目の「配当年次」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
  - 「キャリア形成の探究」1前→1前・後、兼1→4
- 教育課程編成上の都合により、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
  - 「聖書を学ぶ」兼1→2
  - 「心理学」兼9→10
- 教養教育センターが習熟度によるクラス編成を実施し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
  - 「英語 I A」兼1→12
  - 「英語 I B」兼1→12
- 教養教育センターが第二外国語に関して少人数クラス編成を導入し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
  - 「ドイツ語 I A」兼1→9
  - 「フランス語 I A」兼2→7
  - 「中国語 I A」兼1→11
  - 「ドイツ語 I B」兼1→8
  - 「フランス語 I B」兼2→5
  - 「中国語 I B」兼1→8
  - 「韓国・朝鮮語 I A」兼1→8
  - 「韓国・朝鮮語 I B」兼1→3
- 2023年4月昇任による職位変更のため、次の科目の「専任教員等の配置」欄を変更。
  - 「社会福祉原論」准教授0→1、講師1→0
  - 「公的扶助論」准教授0→1、講師1→0
  - 「基礎演習」准教授4→5、講師3→2
  - 「演習 I」准教授5→6、講師3→2
  - 「演習 II」准教授5→6、講師3→2
  - 「政策デザイン実習 I」准教授2→3、講師1→0
  - 「卒業研究」准教授5→6、講師3→2

【令和6年度】

- ・開講期の見直しにより、次の科目の「配当年次」欄を変更  
「共同体と市民社会」2後→2前  
「政治学入門」1後→1前  
「憲法Ⅰ」2前→2後  
「民法総論」2後→2前
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。  
「共生社会と倫理」教授0→1、兼1→2
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。  
「科学技術社会と倫理」兼3→6  
「データ活用による探究」兼2→9  
「地域課題の探究」兼1→4
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「専任教員等の配置」欄を変更。  
「基礎演習」教授6→7、准教授5→6  
「政策デザイン実習Ⅰ」教授0→1  
「政策デザイン実習Ⅱ」教授2→3
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。  
「社会学」准教授1→2、兼7→5
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。  
「よき社会生活のためにA（法律）」兼5→4  
「よき社会生活のためにC（健康）」兼9→8  
「リーディング&ライティング」兼16→15  
「統計的思考の基礎」兼7→6  
「科学的思考の基礎」兼12→11  
「課題探究演習」兼17→20  
「文化人類学」兼3→4  
「心理学」兼10→7  
「法学」兼4→2  
「日本国憲法」兼4→3  
「現代の政治」兼5→3  
「地理学」兼4→3  
「数理の科学」兼8→3  
「環境の科学」兼4→3  
「先端科学と技術」兼6→4  
「AI社会の基礎」兼9→8  
「スポーツ実技B」兼7→6
- ・教養教育センターが習熟度によるクラス編成を実施し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。  
「英語ⅠA」兼12→13  
「英語ⅠB」兼12→13  
「英語ⅡA」兼1→12  
「英語ⅡB」兼1→12
- ・教養教育センターが第二外国語に関して開講コマ数を見直したことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。  
「ドイツ語ⅠA」兼9→6  
「フランス語ⅠA」兼7→4  
「中国語ⅠA」兼11→5  
「韓国・朝鮮語ⅠA」兼8→5  
「ドイツ語ⅠB」兼8→4  
「フランス語ⅠB」兼5→4  
「中国語ⅠB」兼8→5  
「韓国・朝鮮語ⅠB」兼3→4  
「フランス語ⅡA」兼2→1  
「中国語ⅡA」兼1→2  
「フランス語ⅡB」兼2→1  
「フランス語コミュニケーションB」兼2→1
- ・履修者数増加の理由により開講コマを増やしたため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。  
「英語コミュニケーション」兼2→3  
「体育講義」兼1→2

【令和7年度】

- ・令和7年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「基幹教員等の配置」欄を変更。
  - 「社会学」教授0→1、准教授2→1
  - 「政策デザイン実習Ⅰ」教授1→2
  - 「政策デザイン実習Ⅱ」教授3→4、講師0→1
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「基幹教員等の配置」欄及び「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄を変更。
  - 「課題探究演習」准教授1→0、基幹教員以外の教員20→22
  - 「災害とマイノリティ」准教授0→1、基幹教員以外の教員1→7
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄を変更。
  - 「よき社会生活のためにC（健康）」8→7
  - 「リーディング&ライティング」15→14
  - 「クリティカル・シンキング」3→4
  - 「統計的思考の基礎」6→7
  - 「科学的思考の基礎」11→10
  - 「キャリア形成の探究」4→3
  - 「哲学」3→2
  - 「芸術論」3→2
  - 「音楽」2→3
  - 「現代の政治」3→2
  - 「東北地域論」9→8
  - 「数理の科学」3→1
  - 「環境の科学」3→2
  - 「自然の科学」5→4
  - 「英語コミュニケーション」3→5
  - 「英語ⅢB」1→2
  - 「スポーツ実技B」6→8
  - 「格差社会論」3→4
- ・教養教育センターが習熟度によるクラス編成を実施し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄を変更。
  - 「英語ⅡA」12→13
  - 「英語ⅡB」12→13
- ・教養教育センターが第二外国語に関して開講コマ数を見直したことにより、次の科目の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄を変更。
  - 「ドイツ語ⅠA」6→5
  - 「フランス語ⅠA」4→5
  - 「中国語ⅠA」5→6
  - 「ドイツ語ⅠB」4→3
  - 「フランス語ⅠB」4→5
  - 「中国語ⅡA」2→1
  - 「フランス語ⅢA」2→1
  - 「フランス語ⅢB」2→1
- ・教職課程センターの教育課程編成上の都合により、次の科目の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄を変更。
  - 「教育の方法と技術」1→3
  - 「介護体験実習」1→3

- (注)・ 2（1）-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	188 科目	1 科目	199 科目	10 科目 [ 0 ]	188 科目 [ 0 ]	1 科目 [ 0 ]	199 科目 [ 0 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>該当なし。</p>
--------------

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{199} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	校地等の売買による修正(5) 校地の売却による修正(6) 校舎等敷地、運動場敷地の増による修正(7) 東北学院榴ヶ岡高等学校と運動場を共用(収容定員810名・運動場基準面積8,400㎡)(7)		
	校舎敷地	219,096.72㎡ <del>221,971.91㎡</del> 226,552.91㎡ 226,557.36㎡	59,142.06㎡ 0㎡	0㎡	278,238.78㎡ <del>221,971.91㎡</del> 226,552.91㎡ 226,557.36㎡			
	その他	130,256.62㎡ <del>126,712.00㎡</del> 126,097.07㎡	㎡	0㎡	130,256.62㎡ <del>126,712.00㎡</del> 126,097.07㎡			
	合計	349,353.34㎡ <del>349,683.91㎡</del> 353,264.91㎡ 352,654.43㎡	59,142.06㎡ 0㎡	0㎡	408,495.40㎡ <del>349,683.91㎡</del> 353,264.91㎡ 352,654.43㎡			
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	登記簿面積の確定等による修正(5) 建物の解体、用途の変更による修正(6) 校舎の増、用途の変更による修正(7) 東北学院榴ヶ岡高等学校と共用(収容定員810名・基準面積4,680㎡)(7)			
		5,700.63㎡ 0㎡	0㎡	151,941.01㎡ <del>147,978.83㎡</del> 148,591.46㎡ 150,453.56㎡				
(3) 教室・教員研究室	教室		344室 348室 350室 348室	教員研究室	15室	教室は大学全体用途変更等による修正(5) 用途変更等による修正(6) 用途変更等による修正(7)		
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図書		学術雑誌		機械・器具	標本	
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			
		冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕			
地域総合学部政策デザイン学科	185,400 [58,582] <del>179,769 [54,901]</del> 163,467 [47,619]	1,575 [102]	16,516 [16,451] <del>15,993 [15,990]</del> 33,363 [33,270]	16,314 [16,281] <del>15,786 [15,727]</del> 33,156 [33,097]	12,993 <del>3,017</del>	86 <del>84</del>	[大学全体での共用分] (図書) 1,076,327冊 <del>1,073,993冊</del> 2,023,028冊 (電子図書) 5,224冊 (雑誌) 28,380種 <del>29,880種</del> 29,435種 (電子ジャーナル) 12,808点 <del>13,338種</del> 4,769種 機械・器具、標本は学部単位での特定不能のため、大学全体の数 図書の増加は新規購入によるもの。学術雑誌の減少はタイトル見直しによる契約種数減少。(6) 図書、学術雑誌、機械・器具、標本の増加は新規購入によるもの。学術雑誌の増加はタイトル見直しによる契約種数増加。(7)	
計	185,400 [58,582] <del>179,769 [54,901]</del> 163,467 [47,619]	1,575 [102]	16,516 [16,451] <del>15,993 [15,990]</del> 33,363 [33,270]	16,314 [16,281] <del>15,786 [15,727]</del> 33,156 [33,097]	12,993 <del>3,017</del>	86 <del>84</del>		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設	372.0㎡	講堂	5,781.23㎡	厚生補導施設	32,815.52㎡	大学全体	
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費等について、算出方法の誤りによる修正(5) 研究費等について、実績額及び見込額の見直しに基づく変更(6) 研究費等について、実績額及び見込額の見直しに基づく変更(7)
		479千円 374千円 1,455千円	511千円 446千円 374千円 1,455千円	図書購入費	0千円	12,386千円	12,386千円	
	共同研究費等	0千円 195千円 390千円	615千円 630千円 195千円 390千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
学生納付金以外の維持方法の概要	1,414千円	1,144千円	1,144千円	1,144千円	—千円	—千円	手数料、私立大学等経常費補助金及び資産運用収入等	

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。  
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
  - ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東北学院大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
文学部	4	450	3年次5	1810	-	1.07	1.04	-	昭和39	-				
英文学科	4	150	3年次3	606	学士(文学)	1.09	1.05	-	昭和39	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(180→150) 編入学定員変更(2年次△6 3年次△9)			
総合人文学科	4	60	3年次1	242	学士(文学)	1.13	1.07	-	平成23	同上	令和5年度入学生より入学定員変更(50→60) 編入学定員変更(3年次△1)			
歴史学科	4	170	3年次1	682	学士(文学)	1.03	1.01	-	平成17	同上	編入学定員変更(2年次△2 3年次△2)			
教育学科	4	70	-	280	学士(教育学)	1.06	1.05	-	平成30	同上	令和5年度入学生より入学定員変更(50→70)			
経済学部	4	430	-	1720	-	1.07	1.03	-	昭和39	-				
経済学科	4	430	-	1720	学士(経済学)	1.07	1.03	-	昭和39	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(440→430) 編入学定員変更(2年次△6 3年次△9)			
共生社会経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	平成21	同上	令和5年度入学生より学生募集停止			
経営学部	4	341	3年次2	1368	-	1.04	1.01	-	平成21	-				
経営学科	4	341	3年次2	1368	学士(経営学)	1.04	1.01	-	平成21	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	編入学定員変更(2年次△6 3年次△6)			
法学部	4	355	-	1420	-	1.06	1.04	-	昭和40	-				
法律学科	4	355	-	1420	学士(法学)	1.06	1.04	-	昭和40	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(358→355) 編入学定員変更(2年次△4 3年次△6)			
工学部	4	360	-	1440	-	1.03	1.00	-	昭和37	-				
機械知能工学科	4	115	-	460	学士(工学)	1.03	1.00	-	平成18	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(110→115) 編入学定員変更(3年次△6)			
電気電子工学科	4	130	-	520	学士(工学)	1.03	1.01	-	平成29	同上	令和5年度入学生より入学定員変更(110→130) 編入学定員変更(3年次△6)			
環境建設工学科	4	115	-	460	学士(工学)	1.02	1.00	-	平成18	同上	令和5年度入学生より入学定員変更(110→115) 編入学定員変更(3年次△5)			
情報基盤工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成29	同上	令和5年度入学生より学生募集停止			
教養学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成1	-				
人間科学科	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	平成17	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より学生募集停止			
言語文化学科	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	平成17	同上	令和5年度入学生より学生募集停止			
情報科学科	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	平成17	同上	令和5年度入学生より学生募集停止			
地域構想学科	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	平成17	同上	令和5年度入学生より学生募集停止			
地域総合学部		295	-	1180	-	1.05	1.04	-	令和5	-				
地域コミュニティ学科	4	150	-	600	学士(地域学)	1.04	1.04	-	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号				
政策デザイン学科	4	145	-	580	学士(政策学)	1.05	1.04	-	令和5	同上				
情報学部	4	190	-	760	-	1.06	1.05	-	令和5	-				

データサイエンス学科	4	190	-	760	学士 (情報学)	1.06	1.05	-	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋 一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水 小路3番1号
人間科学部	4	165	-	660	-	1.09	1.09	-	令和5	-
心理行動科学科	4	165	-	660	学士 (人間科学)	1.09	1.09	-	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋 一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水 小路3番1号
国際学部	4	130	-	520	-	1.03	1.02	-	令和5	-
国際教養学科	4	130	-	520	学士 (国際学)	1.03	1.02	-	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋 一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水 小路3番1号
大学全体	4	2716	3年次 7	10878	-	-	-	-	-	-

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、

「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<地域総合学部 政策デザイン学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学部長)	伊藤倉 正司 (47) <令和5年4月> 博士(経済学)	よき社会生活のためにB(福祉) 金融入門 地域経済データ分析 地域金融論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授(学部長)	黒坂 愛衣 (45) <令和5年4月> 博士(学術)	現代社会問題論 人権政策論 政策デザイン実習Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	石川 真作 (58) <令和5年4月> 博士(文学)	多文化共生論 シティズンシップ論 政策デザイン実習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	奥山 忠裕 (45) <令和5年4月> 博士(経済学)	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 政策形成論 政策評価論 環境政策論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	熊沢(廣澤) 由美 (50) <令和5年4月> 博士(学術)	社会保障論 社会保険論 格差社会論※ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	佐藤 滋 (41) <令和5年4月> 博士(経済学)	財政入門 地方財政論 公共政策分析 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	和田 正春 (57) <令和5年4月> 商学修士※	公共経営論 地域企業経営論 地域観光論 地域プロジェクト実習 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学部長)	伊藤倉 正司 (47) <令和5年4月> 博士(経済学)	よき社会生活のためにB(福祉) 金融入門 地域経済データ分析 地域金融論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授(学部長)	黒坂 愛衣 (45) <令和5年4月> 博士(学術)	現代社会問題論 人権政策論 政策デザイン実習Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	石川 真作 (58) <令和5年4月> 博士(文学)	多文化共生論 シティズンシップ論 政策デザイン実習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	奥山 忠裕 (46) <令和5年4月> 博士(経済学)	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 政策形成論 政策評価論 環境政策論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	熊沢(廣澤) 由美 (50) <令和5年4月> 博士(学術)	社会保障論 社会保険論 格差社会論※ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	佐藤 滋 (41) <令和5年4月> 博士(経済学)	財政入門 地方財政論 公共政策分析 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	和田 正春 (57) <令和5年4月> 商学修士※	<b>東北地域論</b> 公共経営論 地域企業経営論 地域観光論 地域プロジェクト実習 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学部長)	伊藤倉 正司 (48) <令和5年4月> 博士(経済学)	よき社会生活のためにB(福祉) 金融入門 地域経済データ分析 地域金融論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>共生社会と倫理</b> <b>政策デザイン実習Ⅱ</b>
専	教授(学部長)	黒坂 愛衣 (46) <令和5年4月> 博士(学術)	現代社会問題論 人権政策論 政策デザイン実習Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	石川 真作 (59) <令和5年4月> 博士(文学)	多文化共生論 シティズンシップ論 政策デザイン実習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>基礎演習</b>
専	教授	奥山 忠裕 (47) <令和5年4月> 博士(経済学)	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 政策形成論 政策評価論 環境政策論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	熊沢(廣澤) 由美 (51) <令和5年4月> 博士(学術)	社会保障論 社会保険論 格差社会論※ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	佐藤 滋 (42) <令和5年4月> 博士(経済学)	財政入門 地方財政論 公共政策分析 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	和田 正春 (58) <令和5年4月> 商学修士※	<b>東北地域論</b> 公共経営論 地域企業経営論 地域観光論 地域プロジェクト実習 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>政策デザイン実習Ⅰ</b>

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基(主専)	教授(学部長)	伊藤倉 正司 (49) <令和5年4月> 博士(経済学)	よき社会生活のためにB(福祉) 金融入門 地域経済データ分析 地域金融論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>共生社会と倫理</b> <b>政策デザイン実習Ⅱ</b>
基(主専)	教授	黒坂 愛衣 (47) <令和5年4月> 博士(学術)	現代社会問題論 人権政策論 政策デザイン実習Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>社会学</b>
基(主専)	教授	石川 真作 (60) <令和5年4月> 博士(文学)	多文化共生論 シティズンシップ論 政策デザイン実習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>基礎演習</b>
基(主専)	教授	奥山 忠裕 (48) <令和5年4月> 博士(経済学)	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 政策形成論 政策評価論 環境政策論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>政策デザイン実習Ⅰ</b>
基(主専)	教授	熊沢(廣澤) 由美 (52) <令和5年4月> 博士(学術)	社会保障論 社会保険論 格差社会論※ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>政策デザイン実習Ⅱ</b>
基(主専)	教授(学部長)	佐藤 滋 (43) <令和5年4月> 博士(経済学)	財政入門 地方財政論 公共政策分析 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	教授	和田 正春 (59) <令和5年4月> 商学修士※	<b>東北地域論</b> 公共経営論 地域企業経営論 地域観光論 地域プロジェクト実習 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 <b>政策デザイン実習Ⅰ</b>

専	准教授	小宮 友根 (46) <令和5年4月> 博士(社会学)
		日常生活とジェンダー ジェンダーと政策 政策デザイン実習Ⅰ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	齊藤 康則 (45) <令和5年4月> 修士(社会学)※
		災害社会論 災害ボランティア・NPO論 政策デザイン実習Ⅰ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	佐久間 香子 (40) <令和5年4月> 博士(地域研究)
		SDGs概論 社会と開発 政策デザイン実習Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	定池 祐季 (43) <令和5年4月> 博士(文学)
		共生社会と倫理 地域防災・減災論 復興まちづくり論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	宮地 克典 (38) <令和5年4月> 博士(経済学)
		グローバル時代の労働問題入門 労働経済論 労働政策論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	市川 樹 (36) <令和5年4月> 修士(経済学)
		共生社会と倫理 特殊講義 福祉国家論 福祉政策と地域 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	河村 真実 (31) <令和5年4月> 博士(政治学)
		政治学入門 公共哲学Ⅰ 公共哲学Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	武藤 敦士 (50) <令和5年4月> 博士(社会学)
		政策デザイン実習Ⅰ 社会福祉原論 公的扶助論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究

専	准教授	小宮 友根 (46) <令和5年4月> 博士(社会学)
		日常生活とジェンダー ジェンダーと政策 政策デザイン実習Ⅰ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	齊藤 康則 (45) <令和5年4月> 修士(社会学)※
		災害社会論 災害ボランティア・NPO論 政策デザイン実習Ⅰ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	佐久間 香子 (40) <令和5年4月> 博士(地域研究)
		SDGs概論 社会と開発 政策デザイン実習Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	定池 祐季 (43) <令和5年4月> 博士(文学)
		課題探究演習 環境の科学 共生社会と倫理 地域防災・減災論 復興まちづくり論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 社会学
専	准教授	宮地 克典 (38) <令和5年4月> 博士(経済学)
		グローバル時代の労働問題入門 労働経済論 労働政策論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	市川 樹 (36) <令和5年4月> 修士(経済学)
		共生社会と倫理 特殊講義 福祉国家論 福祉政策と地域 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	河村 真実 (31) <令和5年4月> 博士(政治学)
		政治学入門 公共哲学Ⅰ 公共哲学Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	武藤 敦士 (50) <令和5年4月> 博士(社会学)
		政策デザイン実習Ⅰ 社会福祉原論 公的扶助論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究

専	准教授	小宮 友根 (47) <令和5年4月> 博士(社会学)
		日常生活とジェンダー ジェンダーと政策 政策デザイン実習Ⅰ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 社会学 基礎演習
専	准教授	齊藤 康則 (46) <令和5年4月> 修士(社会学)※
		災害社会論 災害ボランティア・NPO論 政策デザイン実習Ⅰ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	佐久間 香子 (41) <令和5年4月> 博士(地域研究)
		SDGs概論 社会と開発 政策デザイン実習Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	定池 祐季 (44) <令和5年4月> 博士(文学)
		課題探究演習 環境の科学 共生社会と倫理 地域防災・減災論 復興まちづくり論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 社会学
専	准教授	宮地 克典 (38) <令和5年4月> 博士(経済学)
		グローバル時代の労働問題入門 労働経済論 労働政策論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	市川 樹 (37) <令和5年4月> 修士(経済学)
		共生社会と倫理 特殊講義 福祉国家論 福祉政策と地域 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	河村 真実 (32) <令和5年4月> 博士(政治学)
		政治学入門 公共哲学Ⅰ 公共哲学Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	武藤 敦士 (51) <令和5年4月> 博士(社会学)
		政策デザイン実習Ⅰ 社会福祉原論 公的扶助論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究

基 (主専)	准教授	小宮 友根 (48) <令和5年4月> 博士(社会学)
		日常生活とジェンダー ジェンダーと政策 政策デザイン実習Ⅰ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 社会学 基礎演習 災害とマイノリティ※
基 (主専)	准教授	齊藤 康則 (47) <令和5年4月> 修士(社会学)※
		災害社会論 災害ボランティア・NPO論 政策デザイン実習Ⅰ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
基 (主専)	准教授	佐久間 香子 (42) <令和5年4月> 博士(地域研究)
		SDGs概論 社会と開発 政策デザイン実習Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
基 (主専)	准教授	定池 祐季 (45) <令和5年4月> 博士(文学)
		環境の科学 共生社会と倫理 地域防災・減災論 復興まちづくり論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
基 (主専)	准教授	宮地 克典 (40) <令和5年4月> 博士(経済学)
		グローバル時代の労働問題入門 労働経済論 労働政策論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
基 (主専)	講師	市川 樹 (38) <令和5年4月> 修士(経済学)
		共生社会と倫理 特殊講義 福祉国家論 福祉政策と地域 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究 基礎演習 政策デザイン実習Ⅱ
基 (主専)	講師	河村 真実 (33) <令和5年4月> 博士(政治学)
		政治学入門 公共哲学Ⅰ 公共哲学Ⅱ 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究
基 (主専)	准教授	武藤 敦士 (52) <令和5年4月> 博士(社会学)
		政策デザイン実習Ⅰ 社会福祉原論 公的扶助論 基礎演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究

兼任	教授	吉田 新 (44) ＜令和5年4月＞ DOCTORIS THEOLOGIAE (ドイツ連邦共和国)							
		聖書を学ぶ							
兼任	教授	原田 浩司 (49) ＜令和5年4月＞ Master of Theology (英国)							
		キリスト教の歴史と思想							
兼任	教授	出村 みや子 (67) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	出村 みや子 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	出村 みや子 (69) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	
		キリスト教学A			キリスト教学A			キリスト教学A	
兼任	教授	川島 堅二 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	川島 堅二 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	川島 堅二 (65) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	
		キリスト教学B キリスト教学D			キリスト教学B キリスト教学D			キリスト教学B キリスト教学D	
兼任	教授	木村 純二 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	木村 純二 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	木村 純二 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	
		キリスト教学C			キリスト教学C			キリスト教学C	
兼任	教授	楊 世英 (62) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）※	兼任	教授	楊 世英 (62) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）※	兼任	教授	楊 世英 (63) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）※	
		共生社会と倫理 中国語コミュニケーションA 中国語コミュニケーションB			中国語 I A 中国語 I B 共生社会と倫理 中国語コミュニケーションA 中国語コミュニケーションB		その他	教授	楊 世英 (64) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）※  中国語 I A 中国語 I B 共生社会と倫理 中国語コミュニケーションA 中国語コミュニケーションB
兼任	教授	齋藤 修 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	齋藤 修 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	齋藤 修 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	
		科学技術社会と倫理			科学技術社会と倫理 先端科学と技術※		その他	教授	齋藤 修 (65) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）  科学技術社会と倫理※
兼任	教授	小澤 哲也 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	小澤 哲也 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	小澤 哲也 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	
		科学技術社会と倫理			科学技術社会と倫理		その他	教授	小澤 哲也 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）  科学技術社会と倫理※
兼任	教授	中村 達一 (68) ＜令和5年4月＞ 法学修士	兼任	教授	中村 達一 (68) ＜令和5年4月＞ 法学修士				
		よき社会生活のためにA（法律）			よき社会生活のためにA（法律）				
兼任	教授	神林 博史 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	神林 博史 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	神林 博史 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	
		統計的思考の基礎			統計的思考の基礎 社会学		その他	教授	神林 博史 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）  統計的思考の基礎
兼任	教授	菅原 研 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）	兼任	教授	菅原 研 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）	兼任	教授	菅原 研 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）	
		科学的思考の基礎 AI社会の基礎			科学的思考の基礎 AI社会の基礎		その他	教授	菅原 研 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）  科学的思考の基礎 AI社会の基礎

兼任	教授	牧野 博也 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学的思考の基礎 生命の科学
兼任	教授	松尾 行雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学的思考の基礎
兼任	教授	河西 晃祐 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（史学）
		東北学院史の探究 歴史学
兼任	教授	岩谷 幸雄 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		データ活用による探究
兼任	教授	金 義嶺 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		データ活用による探究
兼任	教授	千葉 昭彦 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		課題探究演習
兼任	教授	千葉 智則 (62) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		課題探究演習 スポーツ実技B 体育講義
兼任	教授	信太 光郎 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		哲学 文化の歴史
兼任	教授	今井（林） 奈緒子 (63) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel （ドイツ連邦共和国）
		音楽  課題探究演習 音楽 文化の歴史
兼任	教授	津上 誠 (67) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学
兼任	教授	加藤 健二 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学

兼任	教授	牧野 博也 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学的思考の基礎 生命の科学
兼任	教授	松尾 行雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学的思考の基礎
兼任	教授	河西 晃祐 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（史学）
		東北学院史の探究
兼任	教授	岩谷 幸雄 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		データ活用による探究
兼任	教授	金 義嶺 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		データ活用による探究
兼任	教授	千葉 昭彦 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		課題探究演習
兼任	教授	千葉 智則 (62) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		課題探究演習 スポーツ実技B 体育講義
兼任	教授	信太 光郎 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		クリティカル・シンキング 哲学 文化の歴史
兼任	教授	今井（林） 奈緒子 (63) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel （ドイツ連邦共和国）
		課題探究演習 音楽 文化の歴史
兼任	教授	津上 誠 (67) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学
兼任	教授	加藤 健二 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学

兼任	教授	牧野 博也 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学的思考の基礎 生命の科学
兼任	教授	松尾 行雄 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学的思考の基礎
兼任	教授	河西 晃祐 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（史学）
		東北学院史の探究
兼任	教授	岩谷 幸雄 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		データ活用による探究
兼任	教授	金 義嶺 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		データ活用による探究
兼任	教授	千葉 昭彦 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		課題探究演習※
兼任	教授	千葉 智則 (63) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		課題探究演習 スポーツ実技B 体育講義
兼任	教授	信太 光郎 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		クリティカル・シンキング 哲学 文化の歴史
兼任	教授	今井（林） 奈緒子 (64) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel （ドイツ連邦共和国）
		課題探究演習 音楽 文化の歴史
兼任	講師	津上 誠 (68) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学
兼任	教授	加藤 健二 (67) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学

その他	教授	牧野 博也 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学的思考の基礎 生命の科学
その他	教授	松尾 行雄 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学的思考の基礎
その他	教授	岩谷 幸雄 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		データ活用による探究
その他	教授	金 義嶺 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		データ活用による探究
その他	教授	千葉 昭彦 (65) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		課題探究演習※
その他	教授	千葉 智則 (64) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		スポーツ実技B 体育講義
その他	教授	信太 光郎 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		クリティカル・シンキング 哲学 文化の歴史 課題探究演習
その他	教授	今井（林） 奈緒子 (65) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel （ドイツ連邦共和国） （サバティカルR7.4.1～ R7.9.20）
		課題探究演習 音楽 文化の歴史
その他	講師	津上 誠 (69) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学
その他	教授	加藤 健二 (68) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学

兼任	教授	櫻井 研三 (66) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	萩原 俊彦 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 教育心理学※
兼任	教授	平野 幹雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		心理学 教育心理学※ 特別支援教育論 介護体験実習 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	福野 光輝 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	片瀬 一男 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	教授	佐久間 政広 (65) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学 地域社会論 共同体と市民社会
兼任	教授	鈴木 努 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		社会学
兼任	教授	鈴木 好和 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
兼任	教授	矢口 義教 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		経営学 企業倫理Ⅰ 企業倫理Ⅱ
兼任	教授	宮川 基 (50) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		法学
兼任	教授	木下 淑恵 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		現代の政治 地方自治論

兼任	教授	櫻井 研三 (66) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	萩原 俊彦 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 教育心理学※
兼任	教授	平野 幹雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育心理学※ 特別支援教育論 介護体験実習 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	福野 光輝 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	片瀬 一男 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	教授	佐久間 政広 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学 地域社会論 共同体と市民社会
兼任	教授	鈴木 努 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		社会学
兼任	教授	鈴木 好和 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
兼任	教授	矢口 義教 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		リーディング&ライティング 課題探究演習 企業倫理Ⅰ 企業倫理Ⅱ
兼任	教授	宮川 基 (50) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		法学
兼任	教授	木下 淑恵 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		現代の政治 地方自治論

兼任	教授	櫻井 研三 (67) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	萩原 俊彦 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 教育心理学※
兼任	教授	平野 幹雄 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育心理学※ 特別支援教育論 介護体験実習 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	佐久間 政広 (67) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学 地域社会論 共同体と市民社会
兼任	教授	鈴木 努 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		社会学
兼任	教授	鈴木 好和 (69) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
兼任	教授	矢口 義教 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		課題探究演習 企業倫理Ⅰ 企業倫理Ⅱ
兼任	教授	宮川 基 (51) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		法学
兼任	教授	木下 淑恵 (62) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		現代の政治 地方自治論

その他	教授	櫻井 研三 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
その他	教授	萩原 俊彦 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 教育心理学※
その他	教授	平野 幹雄 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育心理学※ 特別支援教育論 介護体験実習 教職実践演習（中・高）
その他	教授	佐久間 政広 (68) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学 地域社会論 共同体と市民社会
その他	教授	鈴木 努 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		社会学
その他	教授	矢口 義教 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		課題探究演習 企業倫理Ⅰ 企業倫理Ⅱ
その他	教授	宮川 基 (52) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		法学
その他	教授	木下 淑恵 (63) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		現代の政治 地方自治論

兼任	教授	柳井 雅也 (65) ＜令和5年4月＞ 地理学修士
		地理学 東北地域論 地理学概論 地域政策論
兼任	教授	岩動 志乃夫 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論 地誌学概論
兼任	教授	石田 弘隆 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	教授	平吹 喜彦 (65) ＜令和5年4月＞ 理学博士
		環境の科学
兼任	教授	嶋 敏之 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術
兼任	教授	星 朗 (60) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術
兼任	教授	宮内 啓介 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		先端科学と技術
兼任	教授	伊藤 則之 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		AI社会の基礎
兼任	教授	松本(半田) 章代 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		AI社会の基礎
兼任	教授	坂内 昌徳 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	教授	塚本 信也 (59) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB

兼任	教授	柳井 雅也 (65) ＜令和5年4月＞ 地理学修士
		地理学 東北地域論 地理学概論 地域政策論
兼任	教授	岩動 志乃夫 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論 地誌学概論
兼任	教授	石田 弘隆 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	教授	平吹 喜彦 (65) ＜令和5年4月＞ 理学博士
		環境の科学 <b>科学的思考の基礎</b>
兼任	教授	嶋 敏之 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
兼任	教授	星 朗 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
兼任	教授	宮内 啓介 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
兼任	教授	伊藤 則之 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		AI社会の基礎
兼任	教授	松本(半田) 章代 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		AI社会の基礎
兼任	教授	坂内 昌徳 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		英語ⅠA 英語ⅠB <b>言語論</b>
兼任	教授	塚本 信也 (59) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB

兼任	教授	柳井 雅也 (66) ＜令和5年4月＞ 地理学修士
		地理学 東北地域論 地理学概論 地域政策論
兼任	教授	岩動 志乃夫 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論 地誌学概論
兼任	教授	石田 弘隆 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	教授	平吹 喜彦 (66) ＜令和5年4月＞ 理学博士
		環境の科学
兼任	教授	嶋 敏之 (58) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
兼任	教授	星 朗 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
兼任	教授	宮内 啓介 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
兼任	教授	伊藤 則之 (65) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		AI社会の基礎
兼任	教授	松本(半田) 章代 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		AI社会の基礎
兼任	教授	坂内 昌徳 (58) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		英語ⅠA 英語ⅠB <b>言語論</b>
兼任	教授	塚本 信也 (60) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB

その他	教授	柳井 雅也 (67) ＜令和5年4月＞ 地理学修士
		地理学 東北地域論 地理学概論 地域政策論
その他	教授	岩動 志乃夫 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論 地誌学概論
その他	教授	嶋 敏之 (59) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
その他	教授	星 朗 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
その他	教授	宮内 啓介 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		先端科学と技術 <del>※</del>
その他	教授	伊藤 則之 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		AI社会の基礎
その他	教授	松本(半田) 章代 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		AI社会の基礎
その他	教授	坂内 昌徳 (59) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		<b>環境探査演習 言語論</b>
その他	教授	塚本 信也 (61) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB

兼任	教授	金 永昊 (49) <令和5年4月> 博士(文学)
		韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語コミュニケーションA 韓国・朝鮮語ⅡB 韓国・朝鮮語コミュニケーションB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB
兼任	教授	佐伯 啓 (65) <令和5年4月> 文学修士※
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
兼任	教授	呉 国紅 (53) <令和5年4月> Doctor of ENGINEERING (中国)
		海外研究A 海外研究B 海外研究C
兼任	教授	泉 正樹 (47) <令和5年4月> 博士(経済学)
		政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ
兼任	教授	佐藤 純 (50) <令和5年4月> 博士(文学)
		格差社会論※
兼任	教授	佐藤 康仁 (50) <令和5年4月> 修士(経済学)※
		加齢経済論Ⅰ 加齢経済論Ⅱ
兼任	教授	篠崎 剛 (44) <令和5年4月> 博士(経済学)
		国際貿易論
兼任	教授	阿部 未央 (50) <令和5年4月> 博士(法学)
		労働法 社会保険法
兼任	教授	横田 尚昌 (58) <令和5年4月> 修士(法学)※
		商法
兼任	教授	遠藤 隆幸 (48) <令和5年4月> 博士(法学)
		家族法

兼任	教授	金 永昊 (49) <令和5年4月> 博士(文学)
		文学 韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語コミュニケーションA 韓国・朝鮮語ⅡB 韓国・朝鮮語コミュニケーションB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB
兼任	教授	佐伯 啓 (66) <令和5年4月> 文学修士※
		リーディング&ライティング ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB※ ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
兼任	教授	呉 国紅 (53) <令和5年4月> Doctor of ENGINEERING (中国)
		海外研究A 海外研究B 海外研究C
兼任	教授	泉 正樹 (47) <令和5年4月> 博士(経済学)
		政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ
兼任	教授	佐藤 純 (50) <令和5年4月> 博士(文学)
		格差社会論※
兼任	教授	佐藤 康仁 (50) <令和5年4月> 修士(経済学)※
		加齢経済論Ⅰ 加齢経済論Ⅱ
兼任	教授	篠崎 剛 (44) <令和5年4月> 博士(経済学)
		国際貿易論
兼任	教授	阿部 未央 (50) <令和5年4月> 博士(法学)
		労働法 社会保険法
兼任	教授	横田 尚昌 (58) <令和5年4月> 修士(法学)※
		商法
兼任	教授	遠藤 隆幸 (48) <令和5年4月> 修士(法学)※
		課題探究演習 家族法

兼任	教授	金 永昊 (50) <令和5年4月> 博士(文学)
		文学 韓国・朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅢA 韓国・朝鮮語ⅢB
兼任	教授	佐伯 啓 (67) <令和5年4月> 文学修士※
		課題探究演習 ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
兼任	教授	呉 国紅 (54) <令和5年4月> Doctor of ENGINEERING (中国)
		海外研究B 海外研究C
兼任	教授	泉 正樹 (48) <令和5年4月> 博士(経済学)
		政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ
兼任	教授	佐藤 純 (51) <令和5年4月> 博士(文学)
		格差社会論※
兼任	教授	佐藤 康仁 (51) <令和5年4月> 修士(経済学)※
		加齢経済論Ⅰ 加齢経済論Ⅱ
兼任	教授	篠崎 剛 (45) <令和5年4月> 博士(経済学)
		国際貿易論
兼任	教授	阿部 未央 (51) <令和5年4月> 博士(法学)
		労働法 社会保険法
兼任	教授	横田 尚昌 (59) <令和5年4月> 修士(法学)※
		商法
兼任	教授	遠藤 隆幸 (49) <令和5年4月> 修士(法学)※
		家族法

その他	教授	金 永昊 (51) <令和5年4月> 博士(文学)
		文学 韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB
その他	教授	佐伯 啓 (68) <令和5年4月> 文学修士※
		ドイツ語ⅠA※ ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
その他	教授	泉 正樹 (49) <令和5年4月> 博士(経済学)
		政治経済学Ⅰ 政治経済学Ⅱ
その他	教授	佐藤 純 (52) <令和5年4月> 博士(文学)
		格差社会論※
その他	教授	佐藤 康仁 (52) <令和5年4月> 修士(経済学)※
		加齢経済論Ⅰ 加齢経済論Ⅱ
その他	教授	篠崎 剛 (45) <令和5年4月> 博士(経済学)
		国際貿易論
その他	教授	阿部 未央 (52) <令和5年4月> 博士(法学)
		労働法 社会保険法
その他	教授	横田 尚昌 (60) <令和5年4月> 修士(法学)※
		商法
その他	教授	遠藤 隆幸 (50) <令和5年4月> 修士(法学)※
		家族法

兼任	教授	政岡 伸洋 (58) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	政岡 伸洋 (58) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	兼任	教授	政岡 伸洋 (59) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)	その他	教授	政岡 伸洋 (60) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		民俗学Ⅱ			課題探究演習 民俗学Ⅱ			課題探究演習※ 民俗学Ⅱ			課題探究演習※ 民俗学Ⅰ
兼任	教授	大迫 章史 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※	兼任	教授	大迫 章史 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※	兼任	教授	大迫 章史 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※	その他	教授	大迫 章史 (52) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
		現代教職論 教育課程論 教職実践演習(中・高)			現代教職論 教育課程論 教職実践演習(中・高)			現代教職論 教育課程論 教職実践演習(中・高)			現代教職論 教育課程論 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	紺野 祐 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	兼任	教授	紺野 祐 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	兼任	教授	紺野 祐 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)	その他	教授	紺野 祐 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		道德教育の理論と方法			道德教育の理論と方法			道德教育の理論と方法			道德教育の理論と方法
兼任	教授	稲垣 忠 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)	兼任	教授	稲垣 忠 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)	兼任	教授	稲垣 忠 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)	その他	教授	稲垣 忠 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		教育の方法と技術 ICT活用の理論と方法 特別活動・総合的な学習の時間 の理論と方法※ 教職実践演習(中・高)			教育の方法と技術 ICT活用の理論と方法 特別活動・総合的な学習の時間 の理論と方法※ 教職実践演習(中・高)			教育の方法と技術 ICT活用の理論と方法 特別活動・総合的な学習の時間 の理論と方法※ 教職実践演習(中・高)			教育の方法と技術 ICT活用の理論と方法 特別活動・総合的な学習の時間 の理論と方法※ 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	清水 貴裕 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)	兼任	教授	清水 貴裕 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)	兼任	教授	清水 貴裕 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)	その他	教授	清水 貴裕 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		教育相談の理論と方法 生徒指導・進路指導の理論と方 法※ 教職実践演習(中・高)			教育相談の理論と方法 生徒指導・進路指導の理論と方 法※ 教職実践演習(中・高)			教育相談の理論と方法 生徒指導・進路指導の理論と方 法※ 教職実践演習(中・高)			教育相談の理論と方法 生徒指導・進路指導の理論と方 法※ 教職実践演習(中・高)
			兼任	教授	石塚 茂光 (67) ＜令和5年4月＞ 博士(法学)	兼任	教授	石塚 茂光 (68) ＜令和5年4月＞ 博士(法学)			
					よき社会生活のためにA(法 律)			よき社会生活のためにA(法 律)			
			兼任	教授	菊地 雄介 (69) ＜令和5年4月＞ 法学修士	兼任	教授	菊地 雄介 (70) ＜令和5年4月＞ 法学修士	その他	教授	菊地 雄介 (71) ＜令和5年4月＞ 法学修士
					よき社会生活のためにA(法 律)			よき社会生活のためにA(法 律)			よき社会生活のためにA(法 律)
			兼任	教授	佐藤 英世 (67) ＜令和5年4月＞ 法学修士※	兼任	教授	佐藤 英世 (68) ＜令和5年4月＞ 法学修士※			
					よき社会生活のためにA(法 律)			よき社会生活のためにA(法 律)			
			兼任	教授	坂本 謙 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(障害科学)	兼任	教授	坂本 謙 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(障害科学)	その他	教授	坂本 謙 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(障害科学)
					よき社会生活のためにC(健 康)※ スポーツ実技B			よき社会生活のためにC(健 康)※ スポーツ実技B			よき社会生活のためにC(健 康)※ スポーツ実技B
			兼任	教授	高橋 信二 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(体育科学)	兼任	教授	高橋 信二 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(体育科学)	その他	教授	高橋 信二 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(体育科学)
					よき社会生活のためにC(健 康)※			よき社会生活のためにC(健 康)※			スポーツ実技B よき社会生活のためにC(健 康)※

			兼担	教授	藤 祐司 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	兼担	教授	藤 祐司 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	その他	教授	藤 祐司 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
					リーディング&ライティング			リーディング&ライティング			リーディング&ライティング
			兼担	教授	佐々木 郁子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	兼担	教授	佐々木 郁子 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	その他	教授	佐々木 郁子 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
					リーディング&ライティング 課題探究演習			リーディング&ライティング 課題探究演習			リーディング&ライティング 課題探究演習
			兼担	教授	郷古 学 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼担	教授	郷古 学 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	その他	教授	郷古 学 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
					リーディング&ライティング AI社会の基礎			リーディング&ライティング AI社会の基礎			リーディング&ライティング AI社会の基礎
			兼担	教授	中村 教博 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	兼担	教授	中村 教博 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	その他	教授	中村 教博 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
					リーディング&ライティング 課題探究演習 自然の科学			リーディング&ライティング データ活用による探究 課題探究演習 自然の科学			リーディング&ライティング データ活用による探究 課題探究演習 自然の科学
			兼担	教授	仙田 幸子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（社会学）※	兼担	教授	仙田 幸子 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（社会学）※	その他	教授	仙田 幸子 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（社会学）※
					統計的思考の基礎			統計的思考の基礎			統計的思考の基礎
			兼担	教授	櫻井 一弥 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼担	教授	櫻井 一弥 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	その他	教授	櫻井 一弥 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
					課題探究演習			課題探究演習※			課題探究演習※
			兼担	教授	熊谷 正朗 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼担	教授	熊谷 正朗 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	その他	教授	熊谷 正朗 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
					課題探究演習			課題探究演習			課題探究演習
			兼担	教授	渡辺 通子 (64) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※						
					課題探究演習						
			兼担	教授	渡辺 昭一 (69) ＜令和5年4月＞ 文学修士※	兼担	教授	渡辺 昭一 (70) ＜令和5年4月＞ 文学修士※	その他	教授	渡辺 昭一 (71) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
					歴史学			歴史学			歴史学
			兼担	教授	陶久 利彦 (69) ＜令和5年4月＞ 法学修士				その他	教授	陶久 利彦 (71) ＜令和5年4月＞ 法学修士
					法学						より社会生活のためにA（法 律）





兼任	准教授	井川 純一 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	井川 純一 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	井川 純一 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	井川 純一 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		心理学	心理学 よき社会生活のためにC（健康）※ 統計的思考の基礎	心理学 よき社会生活のためにC（健康）※	心理学 よき社会生活のためにC（健康）※ 統計的思考の基礎
兼任	准教授	東海林 涉 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	東海林 涉 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	東海林 涉 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	東海林 涉 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		心理学	心理学 よき社会生活のためにC（健康）※	心理学 よき社会生活のためにC（健康）※	心理学 よき社会生活のためにC（健康）※
兼任	准教授	小林 信重 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	小林 信重 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	小林 信重 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	小林 信重 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		社会学	社会学	社会学	社会学
兼任	准教授	遠藤 尚 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	遠藤 尚 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	遠藤 尚 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	遠藤 尚 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		地理学	地理学	地理学	地理学
兼任	准教授	品田 光春 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	品田 光春 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	品田 光春 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	品田 光春 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		地理学 東北地域論	地理学 東北地域論	地理学 東北地域論	地理学 東北地域論
兼任	准教授	井上 正子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	井上 正子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	井上 正子 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	井上 正子 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		ジェンダー論 英語ⅡA 英語ⅡB	文化の歴史 ジェンダー論 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	文化の歴史 ジェンダー論 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	文化の歴史 ジェンダー論 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	准教授	岩田(本田) 友紀子 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	岩田(本田) 友紀子 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）		
		数理の科学	数理の科学		
兼任	准教授	片方 江 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	片方 江 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	片方 江 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	
		数理の科学	数理の科学	数理の科学	
兼任	准教授	木村 敏幸 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	木村 敏幸 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）		
		数理の科学	数理の科学		
兼任	准教授	佐藤 篤 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	佐藤 篤 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）		
		数理の科学	数理の科学		
兼任	准教授	星野 真樹 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	星野 真樹 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）		星野 真樹 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		数理の科学	数理の科学		数理の科学

兼任	准教授	文 景楠 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	文 景楠 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	文 景楠 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	その他	准教授	文 景楠 (41) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		記号論理学			クリティカル・シンキング 記号論理学 哲学			クリティカル・シンキング 記号論理学 哲学			クリティカル・シンキング 記号論理学 哲学 課題探究演習
兼任	准教授	目代 邦康 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	目代 邦康 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	目代 邦康 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	その他	准教授	目代 邦康 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		環境の科学			地理学 環境の科学			環境の科学			環境の科学
兼任	准教授	翠川 博之 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	翠川 博之 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	翠川 博之 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	その他	准教授	翠川 博之 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語コミュニケーション B フランス語ⅢA フランス語ⅢB			フランス語ⅠA※ フランス語ⅠB※ フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語コミュニケーション B フランス語ⅢA フランス語ⅢB			フランス語ⅠA※ フランス語ⅠB※ フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB			フランス語ⅠA※ フランス語ⅠB※ フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB 課題探究演習
兼任	准教授	Flick Ulrich (41) ＜令和5年4月＞ DOKTORS DER PHILOSOPHIE （ドイツ連邦共和国）	兼任	准教授	Flick Ulrich (41) ＜令和5年4月＞ DOKTORS DER PHILOSOPHIE （ドイツ連邦共和国）	兼任	准教授	Flick Ulrich (42) ＜令和5年4月＞ DOKTORS DER PHILOSOPHIE （ドイツ連邦共和国）	その他	准教授	Flick Ulrich (43) ＜令和5年4月＞ DOKTORS DER PHILOSOPHIE （ドイツ連邦共和国）
		ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB			ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB			ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB			ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB
兼任	准教授	板 明果 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授	板 明果 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授	板 明果 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	その他	准教授	板 明果 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		格差社会論※			格差社会論※			格差社会論※			格差社会論※
兼任	准教授	谷 達彦 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授	谷 達彦 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授	谷 達彦 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	その他	准教授	谷 達彦 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		格差社会論※			格差社会論※ リーディング&ライティング			格差社会論※ リーディング&ライティング			格差社会論※ リーディング&ライティング
兼任	准教授	田野 穂 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（商学）	兼任	准教授	田野 穂 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（商学）	兼任	准教授	田野 穂 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（商学）	その他	准教授	田野 穂 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（商学）
		日本経済論 日本産業論			日本経済論 日本産業論			日本経済論 日本産業論			日本経済論 日本産業論
兼任	准教授	羽田（鈴田） さゆり (51) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）	兼任	准教授	羽田（鈴田） さゆり (51) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）	兼任	准教授	羽田（鈴田） さゆり (52) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）	その他	准教授	羽田（鈴田） さゆり (53) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
		民法総論			民法総論			民法総論			民法総論
兼任	准教授	金子 祥之 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	准教授	金子 祥之 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	准教授	金子 祥之 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）	その他	准教授	金子 祥之 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）
		民俗学Ⅰ			民俗学Ⅰ			民俗学Ⅱ			民俗学Ⅱ
兼任	准教授	清多 英羽 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	清多 英羽 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	清多 英羽 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	その他	教授	清多 英羽 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育基礎論 教職実践演習（中・高）			教育基礎論 教職実践演習（中・高）			教育基礎論 教職実践演習（中・高）			教育基礎論 教職実践演習（中・高）
兼任	准教授	泉山 靖人 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	准教授	泉山 靖人 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	准教授	泉山 靖人 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※	その他	教授	泉山 靖人 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		教育の制度と経営 教職実践演習（中・高）			教育の制度と経営 教職実践演習（中・高）			教育の制度と経営 教職実践演習（中・高）			教育の制度と経営 教職実践演習（中・高）





兼任	講師	井坂 正宏 (60) <令和5年4月> 法学修士
		行政学
兼任	講師	望月 理生 (38) <令和5年4月> 博士(経済学)
		東北経済論 東北開発論
兼任	講師	松原 俊介 (31) <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ
兼任	講師	藤野 雄大 (39) <令和5年4月> Master of Theology(米国)
		聖書を学ぶ
兼任	講師	塚原 義央 (40) <令和5年4月> 博士(法学)
		よき社会生活のためにA(法律)
兼任	講師	齋藤(太田) 渉 (44) <令和5年4月> 修士(経営学)
		リーディング&ライティング 地域ボランティア活動の探究
兼任	講師	香掛 沙弥香 (34) <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		リーディング&ライティング 課題探究演習 英語ⅠB
兼任	講師	西田 昌之 (44) <令和5年4月> Doctor of Philosophy(豪州)
		リーディング&ライティング クリティカル・シンキング
兼任	講師	渡邊 蘭子 (31) <令和5年4月> 修士(文学)※
		課題探究演習
兼任	講師	森島 佑 (37) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端科学と技術※
兼任	助教	嶋田(久間木) みのり (36) <令和5年4月> 修士(教育学)
		リーディング&ライティング

兼任	講師	井坂 正宏 (60) <令和5年4月> 法学修士
		行政学
兼任	講師	望月 理生 (38) <令和5年4月> 博士(経済学)
		東北経済論 東北開発論
兼任	講師	松原 俊介 (31) <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 日本国憲法
兼任	講師	藤野 雄大 (39) <令和5年4月> Master of Theology(米国)
		聖書を学ぶ
兼任	講師	塚原 義央 (40) <令和5年4月> 博士(法学)
		よき社会生活のためにA(法律)
兼任	講師	齋藤(太田) 渉 (44) <令和5年4月> 修士(経営学)
		リーディング&ライティング 地域ボランティア活動の探究
兼任	講師	香掛 沙弥香 (34) <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		リーディング&ライティング 課題探究演習 英語ⅠB
兼任	講師	西田 昌之 (44) <令和5年4月> Doctor of Philosophy(豪州)
		リーディング&ライティング クリティカル・シンキング
兼任	講師	渡邊 蘭子 (31) <令和5年4月> 修士(文学)※
		課題探究演習
兼任	講師	森島 佑 (37) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端科学と技術※
兼任	助教	嶋田(久間木) みのり (36) <令和5年4月> 修士(教育学)
		リーディング&ライティング

兼任	講師	井坂 正宏 (61) <令和5年4月> 法学修士
		行政学
兼任	講師	望月 理生 (39) <令和5年4月> 博士(経済学)
		東北経済論 東北開発論
兼任	准教授	松原 俊介 (32) <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ
兼任	講師	藤野 雄大 (40) <令和5年4月> Master of Theology(米国)
		聖書を学ぶ
兼任	講師	齋藤(太田) 渉 (45) <令和5年4月> 修士(経営学)
		リーディング&ライティング 地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究
兼任	講師	香掛 沙弥香 (35) <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		課題探究演習
兼任	講師	西田 昌之 (45) <令和5年4月> Doctor of Philosophy(豪州)
		クリティカル・シンキング 文化人類学
兼任	講師	森島 佑 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		データ活用による探究
兼任	助教	嶋田(久間木) みのり (37) <令和5年4月> 修士(教育学)
		リーディング&ライティング

その他	講師	井坂 正宏 (62) <令和5年4月> 法学修士
		行政法総論
その他	講師	望月 理生 (40) <令和5年4月> 博士(経済学)
		東北経済論 東北開発論 東北地域論
その他	准教授	松原 俊介 (33) <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ
その他	准教授	藤野 雄大 (41) <令和5年4月> Master of Theology(米国)
		キリスト教文化A キリスト教文化C 聖書を学ぶ
その他	准教授	塚原 義央 (42) <令和5年4月> 博士(法学)
		よき社会生活のためにA(法律)
その他	講師	齋藤(太田) 渉 (46) <令和5年4月> 修士(経営学)
		リーディング&ライティング 地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究
その他	講師	香掛 沙弥香 (36) <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		課題探究演習
その他	准教授	西田 昌之 (46) <令和5年4月> Doctor of Philosophy(豪州)
		クリティカル・シンキング 文化人類学 海外研究A 海外研究B 海外研究C
その他	講師	森島 佑 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		データ活用による探究
兼任	助教	嶋田(久間木) みのり (36) <令和5年4月> 修士(教育学)
		リーディング&ライティング

兼任	助教	遠海 友紀 (38) ＜令和5年4月＞ 修士（情報学）	兼任	講師	遠海 友紀 (38) ＜令和5年4月＞ 修士（情報学）	兼任	講師	遠海 友紀 (39) ＜令和5年4月＞ 修士（情報学）	その他	講師	遠海 友紀 (40) ＜令和5年4月＞ 修士（情報学）
		クリティカル・シンキング			リーディング&ライティング			リーディング&ライティング			リーディング&ライティング
兼任	助教	阪口 慧 (34) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）※	兼任	助教	阪口 慧 (34) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）※	兼任	助教	阪口 慧 (35) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）※			
		ベーシック英語 英語ⅢA			英語ⅠA 英語ⅠB ベーシック英語 英語ⅢA			英語ⅠA 英語ⅠB ベーシック英語 英語ⅢA			
兼任	助教	Donnere Alise (36) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	助教	Donnere Alise (36) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	助教	Donnere Alise (37) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	その他	助教	Donnere Alise (38) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		英語コミュニケーション 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語コミュニケーション 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語コミュニケーション 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語コミュニケーション 英語ⅢB※
兼任	助教	伊藤 大介 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	助教	伊藤 大介 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	助教	伊藤 大介 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	その他	助教	伊藤 大介 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		日本史概論			課題探究演習 日本史概論 歴史学			リーディング&ライティング 課題探究演習 日本史概論 歴史学			リーディング&ライティング 課題探究演習 日本史概論 東北学院史の探究
			兼任	助教	松本 進乃助 (35) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）	兼任	助教	松本 進乃助 (36) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）			
					リーディング&ライティング			リーディング&ライティング			
			兼任	助教	志田 絵里子 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	兼任	助教	志田 絵里子 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	その他	助教	志田 絵里子 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
					リーディング&ライティング			リーディング&ライティング			リーディング&ライティング 課題探究演習
			兼任	助教	千葉 真哉 (46) ＜令和5年4月＞ 修士（大学アドミニストレーション）	兼任	助教	千葉 真哉 (47) ＜令和5年4月＞ 修士（大学アドミニストレーション）	その他	助教	千葉 真哉 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（大学アドミニストレーション）
					地域ボランティア活動の探究			地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究			地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究
			兼任	助教	磯村 和樹 (33) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	助教	磯村 和樹 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	その他	助教	磯村 和樹 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
					地域ボランティア活動の探究			地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究			地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究
			兼任	助教	中野 優子 (46) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	兼任	助教	中野 優子 (47) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	その他	助教	中野 優子 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）
					英語ⅠA			英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA
			兼任	助教	関 東峰 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）						
					韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB						
									その他	助教	斎藤 孫代 (52) ＜令和7年4月＞ 博士（国際文化）
											英語ⅢB※

兼任	講師	遠藤 健樹 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		倫理学
兼任	講師	曾我 洋介 (46) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	門間 陽樹 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（障害科学）
		スポーツ実技 A
兼任	講師	川嶋 周英 (60) ＜令和5年4月＞ 文学士
		日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B
兼任	講師	小祝 慶紀 (59) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		地域産業論
兼任	講師	伊藤 清市 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（事業構想学）
		障害学 災害とマイノリティ
兼任	講師	藤井 浩司 (68) ＜令和5年4月＞ 政治学修士
		行政法総論
兼任	講師	出村 伸 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		外国史概論
兼任	講師	及川 美美子 (69) ＜令和5年4月＞ 教育学修士※
		特別活動・総合的な学習の時間の 理論と方法※
兼任	講師	中村 修 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		生徒指導・進路指導の理論と方 法※
兼任	講師	首藤 寛之 (45) ＜令和5年4月＞ 学士（経済学）
		よき社会生活のためにB（福 祉）
兼任	講師	高橋 大地 (36) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）
		よき社会生活のためにB（福 祉）

兼任	講師	遠藤 健樹 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		倫理学
兼任	講師	曾我 洋介 (46) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	門間 陽樹 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（障害科学）
		スポーツ実技 A
兼任	講師	川嶋 周英 (60) ＜令和5年4月＞ 文学士
		日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B
兼任	講師	小祝 慶紀 (60) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		地域産業論
兼任	講師	伊藤 清市 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（事業構想学）
		障害学 災害とマイノリティ
兼任	講師	藤井 浩司 (68) ＜令和5年4月＞ 政治学修士
		行政法総論
兼任	講師	出村 伸 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		ドイツ語Ⅰ A ドイツ語Ⅰ B※ 外国史概論
兼任	講師	及川 美美子 (69) ＜令和5年4月＞ 教育学修士※
		特別活動・総合的な学習の時間の 理論と方法※
兼任	講師	中村 修 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		生徒指導・進路指導の理論と方 法※
兼任	講師	首藤 寛之 (46) ＜令和5年4月＞ 学士（経済学）
		よき社会生活のためにB（福 祉）
兼任	講師	高橋 大地 (37) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）
		よき社会生活のためにB（福 祉）

兼任	講師	曾我 洋介 (47) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	門間 陽樹 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（障害科学）
		スポーツ実技 A
兼任	講師	川嶋 周英 (61) ＜令和5年4月＞ 文学士
		日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B
兼任	講師	小祝 慶紀 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		地域産業論
兼任	講師	伊藤 清市 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（事業構想学）
		障害学 災害とマイノリティ
兼任	講師	藤井 浩司 (69) ＜令和5年4月＞ 政治学修士
		行政法総論
兼任	講師	出村 伸 (58) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		ドイツ語Ⅰ A※ ドイツ語Ⅰ B※ 外国史概論
兼任	講師	及川 美美子 (69) ＜令和5年4月＞ 教育学修士※
		特別活動・総合的な学習の時間の 理論と方法※
兼任	講師	中村 修 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		生徒指導・進路指導の理論と方 法※
兼任	講師	首藤 寛之 (46) ＜令和5年4月＞ 学士（経済学）
		よき社会生活のためにB（福 祉）
兼任	講師	高橋 大地 (37) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）
		よき社会生活のためにB（福 祉）

兼任	講師	曾我 洋介 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	川嶋 周英 (62) ＜令和5年4月＞ 文学士
		日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B
兼任	講師	小祝 慶紀 (62) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		地域産業論
兼任	講師	伊藤 清市 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（事業構想学）
		障害学 災害とマイノリティ※
兼任	講師	出村 伸 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		ドイツ語Ⅰ A ドイツ語Ⅰ B 外国史概論
兼任	講師	中村 修 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		生徒指導・進路指導の理論と方 法※
兼任	講師	首藤 寛之 (47) ＜令和5年4月＞ 学士（経済学）
		よき社会生活のためにB（福 祉）
兼任	講師	高橋 大地 (38) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）
		よき社会生活のためにB（福 祉）













			兼任 講師	菅原 尚樹 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任 講師	菅原 尚樹 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	その他 講師	菅原 尚樹 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
				中国語ⅠA 中国語ⅠB		中国語ⅠA 中国語ⅠB		中国語ⅠA 中国語ⅠB
			兼任 講師	斎藤 知広 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（国際文化）※				
				中国語ⅠA 中国語ⅠB				
			兼任 講師	井手 伶 (56) ＜令和5年4月＞ 経済学士（中国）	兼任 講師	井手 伶 (57) ＜令和5年4月＞ 経済学士（中国）	その他 講師	井手 伶 (58) ＜令和5年4月＞ 経済学士（中国）
				中国語ⅠA 中国語ⅠB		中国語ⅠA 中国語ⅠB		中国語ⅠA 中国語ⅠB
			兼任 講師	阿南 美和子 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）	兼任 講師	阿南 美和子 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）	その他 講師	阿南 美和子 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
				中国語ⅠA		中国語ⅠA 中国語ⅠB		中国語ⅠA 中国語ⅠB
			兼任 講師	程 勉春 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（国際文化）				
				中国語ⅠA 中国語ⅠB				
			兼任 講師	田島 花野 (43) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）				
				中国語ⅠA 中国語ⅠB				
			兼任 講師	木村(中村) 真理子 (32) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）				
				中国語ⅠA				
			兼任 講師	田 靖 (34) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※				
				中国語ⅠA				
			兼任 講師	張 基善 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任 講師	張 基善 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	その他 講師	張 基善 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
				韓国・朝鮮語ⅠA		韓国・朝鮮語ⅠA※		韓国・朝鮮語ⅠA※
			兼任 講師	金 順姫 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	兼任 講師	金 順姫 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	その他 講師	金 順姫 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）
				韓国・朝鮮語ⅠA		韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB		韓国・朝鮮語コミュニケーションA 韓国・朝鮮語コミュニケーションB
			兼任 講師	宋 貞薫 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	兼任 講師	宋 貞薫 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	その他 講師	宋 貞薫 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
				韓国・朝鮮語ⅠA		韓国・朝鮮語ⅠA		韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB







						その他	講師	阿部 裕二 (65) <令和7年4月> 経済学修士※ 格差社会論※
						その他	講師	市川 尚 (52) <令和7年4月> 博士(学術) 教育の方法と技術
						その他	講師	薄井 洋子 (39) <令和7年4月> 博士(教育情報学) ベーシック英語
						その他	講師	大橋 達介 (45) <令和7年4月> 学士(比較文化) 災害とマイノリティ※
						その他	講師	小山田 真帆 (31) <令和7年4月> 修士(文学)※ 歴史学
						その他	講師	加藤 清也 (61) <令和7年4月> 修士(情報科学) 災害とマイノリティ※
						その他	講師	金丸 美美 (67) <令和7年4月> 博士(国際文化) 英語ⅠA 英語ⅠB
						その他	講師	上西 智子 (58) <令和7年4月> 博士(経営学) リーディング&ライティング
						その他	講師	菊池 智佳 (51) <令和7年4月> 博士(政策・メディア) 災害とマイノリティ※
						その他	講師	木村(下道) 素子 (32) <令和7年4月> 修士(文学)※ 文学
						その他	講師	黒沢 麻美 (43) <令和7年4月> 修士(健康福祉学) 介護体験実習
						その他	講師	小松 恒誠 (34) <令和7年4月> 教育学博士 スポーツ実技Ⅱ
						その他	講師	佐々木 健太郎 (41) <令和7年4月> 修士(教育学) 介護体験実習
						その他	講師	佐藤 邦宏 (67) <令和7年4月> 学士(教育学) 特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法※
						その他	講師	佐藤 晴泰 (56) <令和7年4月> 教職修士(専門職) 教育の方法と技術
						その他	講師	鈴田 征紀 (56) <令和7年4月> 修士(法学)※ 現代の政治
						その他	講師	張 舜舜 (38) <令和7年4月> 経済学博士 共生社会と倫理
						その他	講師	天童 瞳子 (68) <令和7年4月> 博士(教育学) 災害とマイノリティ※

						その他	講師	富川 多佳子 (38) <令和7年4月> 博士(国際文化) 英語ⅡA 英語ⅡB
						その他	講師	永田 貴聖 (50) <令和7年4月> 博士(学術) 災害とマイノリティ※
						その他	講師	西岡 晋 (52) <令和7年4月> 修士(政治学)※ 行政学
						その他	講師	野澤 涼子 (44) <令和7年4月> 博士(教育学) 文化の歴史
						その他	講師	早坂 昌彦 (52) <令和7年4月> 経営学修士 課題探究演習
						その他	講師	前川 直哉 (48) <令和7年4月> 博士(人間・環境学) 災害とマイノリティ※
						その他	講師	谷地敏(吉村) 晶子 (43) <令和7年4月> 博士(音楽) 音楽
						その他	講師	TALISMA David (40) <令和7年4月> 学士(interdisciplinary studies)(米国) 英語コミュニケーション

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任区分」)の順に記入してください。
- ・改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- ・教員がバディカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- 専任教員
  - ・和田正春教授：「東北地域論」を担当
  - ・定池祐季准教授：「課題探究演習」「環境の科学」「社会学」を担当
  - ・武藤敦士准教授：2023年4月昇任による職位変更(講師→准教授)
- 兼任・兼任教員
  - ・2023年4月昇任による職位変更、統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、教養教育科目等を全学共通科目の位置づけにしたこと等の理由により、5<教員組織の状況>(1)-①のとおり変更。

【令和6年度】

- 専任教員
  - ・伊藤倉正司教授：「共生社会と倫理」「政策デザイン実習Ⅱ」を担当。
  - ・石川眞作教授：「基礎演習」を担当。
  - ・和田正春教授：「政策デザイン実習Ⅰ」を担当。
  - ・小宮友根准教授：「社会学」を担当。
- 兼任・兼任教員
  - ・2024年4月昇任による職位変更、教養教育科目等を全学共通科目の位置づけにしたこと、教育課程編成上の都合等の理由により、5 教員組織の状況>(1)-①のとおり変更。

【令和7年度】

- 基幹教員
  - ・黒坂愛衣教授：2025年4月任期満了に伴う交代により「(学科長)」の表記を削除。「社会学」を担当。
  - ・奥山忠裕教授：「政策デザイン実習Ⅰ」を担当。
  - ・熊沢(廣澤)由美教授：「政策デザイン実習Ⅱ」を担当。
  - ・佐藤滋教授：2025年4月任期満了に伴う交代により「(学科長)」の表記を追記。
  - ・小宮友根准教授：「災害とマイノリティ」を担当。
  - ・定池祐季准教授：「課題探究演習」「社会学」を削除。
  - ・市川樹講師：「基礎演習」「政策デザイン実習Ⅱ」を担当。
- 基幹教員以外の教員
  - ・2025年4月昇任による職位変更、教育課程編成上の都合等の理由により、5 教員組織の状況>(1)-①のとおり変更。

- (注) 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。  
**原則としてA C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。**
- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります)
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
14	7	11
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A*))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(B*))	助手(B')
7	5	3	0	15	-	0	7	6	2	0	15	15	0
(7)	(6)	(2)	(0)	(15)	-	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(C*))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(D*))	助手(D')
7	6	2	0	15	15	0	7	6	2	0	15	15	0
[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ - ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ - ]	[ 0 ]

(注)「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A\*))」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授：67 その他：65	0	0
歳	名	名

(注)「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) =  $\frac{15}{15} = 100$  %  
 設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C\*) =  $\frac{15}{-} = -$  %  
 設置時の計画(A\*)

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 =  $\frac{0}{15} = 0$  %  
 現在(報告時)の状況(B)

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) =  $\frac{0}{0} = -$  %  
 設置時の計画(A)

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必称・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
-	-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-			
合 計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必称・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
-	-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-			
合 計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D） + （F）				後任補充状況の集計（E） + （G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = 0\%$$

(注) 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和 6 年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注) (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

- ・令和 7 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<地域総合学部 政策デザイン学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①学則 届出時に提出した学則について、卒業要件におけるその他選択科目に「留学科目」を記載していなかった。</p>	<p>①学則 令和5年4月1日施行として学則を改正し、卒業要件におけるその他選択科目に「留学科目」を追加した。</p>
<p>②カリキュラム・ポリシー ※2023年度入学生まで適用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学修成果1～4を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。</li> <li>学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。</li> <li>学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、地域コミュニティ学科においては英語を4単位必修、ドイツ語・フランス語・中国語・韓国朝鮮語のいずれかを2単位選択必修とし、政策デザイン学科では英語を4単位必修とする。</li> <li>学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「課題探究」を置き、その中で自ら課題を発見し、その解決を希求する姿勢を養う。</li> <li>教養教育科目の「人間的基礎」、「知的基礎」、「課題探究」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせ、学修成果1、2、4の達成と専門教育との接続により学修成果5の基礎とする。</li> <li>学修成果3は、能動的学修にむけた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部となる。さらに、学修成果の活用を主たる目的として、地域コミュニティ学科では、専門科目に演習形式の授業科目及び総合研究を必修科目として置き、政策デザイン学科では専門科目に演習形式の授業科目及び卒業研究を必修科目として置く。</li> <li>学修成果4を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「共通教養」科目群を置く。また、初年次の専門基盤科目もこの学修成果を達成するための基礎とする。</li> <li>学修成果5を達成することを主たる目的として、専門科目を置く。</li> <li>卒業所要単位及び履修方法は、専門科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう学科ごとに適切に定める。</li> </ol>	<p>②カリキュラム・ポリシー ※2024年度入学生より適用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学修成果1～4を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。</li> <li>学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。</li> <li>学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、英語を4単位必修とする。</li> <li>学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「課題探究」を置き、その中で自ら課題を発見し、その解決を希求する姿勢を養う。</li> <li>教養教育科目の「人間的基礎」、「知的基礎」、「課題探究」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせ、学修成果1、2、4の達成と専門教育との接続により学修成果5の基礎とする。</li> <li>学修成果3は、能動的学修にむけた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部となる。さらに、学修成果の活用を主たる目的として、専門科目に演習形式の授業科目及び卒業研究を必修科目として置く。</li> <li>学修成果4を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「共通教養」科目群を置く。また、初年次の専門基盤科目もこの学修成果を達成するための基礎とする。</li> <li>学修成果5を達成することを主たる目的として、専門科目を置き、フィールドワークやグループワークを通じて、地域の多様な問題に対する洞察を深め、それを公正で包摂的な社会実現の政策課題として捉えることのできる能力を高める。また、公共行政、経済産業、市民社会に関する専門知識をバランスよく学び、地域課題を解決するための政策を立案・遂行するのに必要な力を身に付ける。</li> <li>卒業所要単位及び履修方法は、専門科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。</li> </ol>
<p>③アドミッション・ポリシー ※2024年度入学生まで適用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）</li> <li>地域総合学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、地域総合学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）</li> <li>高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。（知識・技能／学修への態度）</li> <li>高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）</li> <li>高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）</li> </ol>	<p>③アドミッション・ポリシー ※2025年度入学生より適用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）</li> <li>地域総合学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、地域に関する自然・社会事象及び政策を学ぶとする関心と意欲を持ち、地域が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）</li> <li>高等学校における学習によって、地域総合学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを活用する力を有している。（知識・技能）</li> <li>高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）</li> </ol>

<p>6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)</p> <p>7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)</p>	<p>以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。</p> <p>5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)</p> <p>6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)</p>
--	---

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学のFD活動については、全学的な組織である「東北学院大学FD推進委員会」を設置し、平成16年より授業内容・方法に関する各学部・学科の現状報告がなされている。それを受けて、全学FD講演会及びFD研修会を開催し、平成17年からはそれらの活動概要をまとめた『FDニュース』を年2回発行している(資料1「東北学院大学FD推進委員会規程」)。各学部及び各研究科においてもFD活動を実施しており、東北学院大学FD推進委員会は同委員会規程第3条第1項第1号及び第2号に従い、各学部及び各研究科におけるFDへの取組状況を聴取するとともに、FDに関する情報を各学部及び各研究科に提供してFD活動を推進している。また、全ての基幹教員を対象とした全学教員会議(年2回)においてもFD研修に関わる報告や講演等が実施されている。</p> <p>本学のSD活動については、教員・職員を対象として実施している。全教職員に向けた研修の機会を設け、教職協働に基づく研修テーマの設定により、必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質を向上させるなど、必要な取組を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>東北学院大学FD推進委員会については、令和6年度も規程に従って、同委員会を開催し、FD研修会の内容、開催時期等を審議した。同委員会は、副学長、各学部・研究科から1名ずつ選出された教員、高等教育開発室長、高等教育開発室副室長、教育総合研究所長、学務部長によって構成されている。</p> <p>SD活動については学校法人東北学院人事会議に人事部人事課がSD活動の企画案を諮り、承認を受けて実施する。同会議は原則、毎週開催され、副学長(総務担当)が委員として出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD推進委員会では規程に従い、以下の事項を審議・検討し、その実施にあたっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各学部・学科、各研究科・専攻におけるFDへの取り組み状況を相互に報告し、意見を交換すること。</li> <li>(2) FDに関する情報を収集して分析し、情報及び分析によって得られた知見を、各学部・学科、各研究科・専攻、個々の教員等に提供すること。</li> <li>(3) FDに関する講演会、研修会等を企画・実施すること。</li> </ol> <p>SDについては、学校法人東北学院法人事務組織規程第4条(人事部の事務分掌)第2項第1号「イ職員の研修計画及び実施に関すること。」に従い、研修が実施されている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任教員FD研修会を令和6年4月4日及び5日に開催した。 日時：令和6年4月4日(木)、5日(金)9:30-12:00 場所：土樋キャンパス5号館第1・第2会議室、五橋キャンパス講義棟3階L307教室 主催：東北学院大学FD推進委員会 内容：本学の教育方針とカリキュラム構成、授業運営に関する諸連絡、学修eポートフォリオ、科研費申請、学生指導上の留意点、学習支援システム、意見交換会</li> <li>・令和6年4月11日開催の全学教員会議においてFDに関する内容を扱った。 日時：令和6年4月11日(木)15:30-17:00 場所：五橋キャンパス押川記念館押川記念ホール 主催：東北学院大学学務部教務課 内容：TG Grand Vision 150第II期中期計画2023年度実行計画の重点項目総括、今年度の大学運営に関する重点項目、基幹教員制度の概要、今年度の授業運営他</li> <li>・令和6年度は全学FD研修会・講演会を2回行った。新任教員対象のFD座談会も9月に実施した。</li> </ul> <p>【令和6年度の取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第32回FD研修会・講演会 日時：令和6年8月6日(火)15:00-17:00 場所：五橋キャンパス押川記念館押川記念ホール 主催：FD推進委員会・学務部学修支援課 内容：講演「いまなげりベラルアーツなのかーAI、レジリエンス、生きる意味ー」(上田紀行東海学園大学特命副学長・卓越教授、東京工業大学特命教授)</li> <li>・第33回FD研修会・講演会 日時：令和6年12月5日(木)15:30-17:30 場所：土樋キャンパス8号館ホール842教室 主催：FD推進委員会・学務部学修支援課 内容：講演「障害のある学生への修学支援ー合理的配慮や授業での支援についての再確認」(筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局船越高樹准教授) 報告「次期教学系システムについて」(福島翔太教務課係長・熊谷正朗学務部副部長) 「来年度のシラバス作成について」(学務部長平野幹雄教授)</li> </ul>
--

- ・新任教員FD座談会  
日時：令和6年9月17日（火）13:00-14:45  
場所：土樋キャンパス8号館第3・4会議室  
主催：FD推進委員会・学務部学修支援課  
内容：私大連主催新任教員研修FDワークショップ参加報告、前期授業の振り返り・情報交換
- ・東北学院教職員研修  
日時：令和6年8月30日（金）9:00-12:00  
場所：土樋キャンパス8号館ホール  
主催：学校法人東北学院人事部人事課  
内容：講演「大学におけるDX推進について」（藤本一之東北大学情報部デジタル変革推進課長）  
「TG Grand Vision 150 第II期中期計画」KGIに基づく中間検証結果の報告」（庶務部企画課）
- ・全学SD研修会  
日時：令和7年3月12日（水）10:00-11:30  
場所：土樋キャンパス8号館ホール  
主催：学校法人東北学院人事部人事課  
内容：講演「キャンパス・ハラスメントの防止策」（弁護士法人三島法律事務所弁護士佐藤康浩氏）
- ・地域総合学部FD研修会  
日時：令和6年9月19日（木）教授会終了後  
場所：五橋キャンパス講義棟L405教室  
主催：地域総合学部  
内容：「北九州市立大学地域創生学群の地域連携活動について」（伊鹿倉正司地域総合学部長）

#### b 実施方法

- ・令和6年度のFD・SD研修会はすべて対面で行った。講演等については出席できなかった教職員のため動画を録画し、後日視聴する機会を作った。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和6年4月4日、5日開催の新任教員FD研修会には令和6年度新任教員19名が参加した。質疑応答では主に授業運営に関する質問が活発に出された。
- ・令和6年4月11日開催の全学教員会議は新任教員も含め、253名の教員が押川記念館押川記念ホールに一堂に会して実施された。質疑応答においては授業運営に関する質問が多く出された。
- ・令和6年8月6日開催の全学FD研修会には、対面で148名、動画視聴101名、計249名の教職員が参加し、教養教育に関して学んだ。
- ・令和6年8月30日開催の東北学院教職員研修会には対面で418名の参加あり、DX推進について学んだ。
- ・令和6年9月17日開催の新任教員FD座談会には新任教員13名が参加し、前期の振り返りと情報交換を行った。
- ・令和6年12月5日開催の全学FD研修会には、対面で142名、動画視聴97名、計239名の教職員が参加した。学修支援に関する研修を行った。
- ・令和7年3月12日開催のSD研修会には対面で215名の教職員の参加があり、ハラスメント対策について学んだ。
- ・学部のFD研修会の参加者は、地域総合学部29名であった。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学教員会議及び新任教員FD研修会では学務部長が授業運営方法について詳しい説明を行った。4月12日から始まった授業において、FD研修で共有された情報をもとに各教員が授業改善に取り組んでいる。学部・研究科のFD研修会では授業運営に関する具体的な意見交換及び情報共有が行われている。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

授業評価に関する全学組織として「授業改善のための学生アンケート」実施委員会が設置されており、授業改善のための学生アンケート実施手順に従って、教員区分の別なく「授業改善のための学生アンケート」を実施している。その目的は授業改善にあり、授業に対する学生からの声に基づいて担当教員が自らの授業をより良いものにするためである。「授業改善のための学生アンケート」は、全ての講義科目について、原則として各学期の授業の最終週ないしその前週に実施されている。本学科の令和6年度開講の全授業科目についても、令和6年7月中旬及び令和7年1月初旬に実施した。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員の個別科目に関する「授業改善のための学生アンケート」の評価結果は、次の学期の授業開始前にLMSで公開しており、各自で確認できる。各教員はその結果を自らの授業改善に役立てるよう活用することとなっている。また、「授業改善のための学生アンケート」実施委員会は、アンケートの実施状況及びその評価結果をとりまとめた『「授業改善のための学生アンケート」結果報告書』として大学ホームページに公開し、さらに学生閲覧用として図書館及び学務部教務課窓口に配置している。個別科目のアンケート結果も同様に、学生閲覧用に図書館及び学務部教務課窓口に配置している。また、個別科目のアンケート結果は各学部長にも配付している。さらに、各授業科目の学生による総合評価点平均値が一定基準を上回る優秀教員には学長が表彰を行い、一定基準を下回る教員には改善計画書の提出を義務付けている。本学科の令和6年度開講の全授業についても、上記と同様の対応を行う予定である。

(注)「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科は、【地域社会を地球規模の社会経済システムとの関係で捉え、さまざまな地域の課題に多様な担い手が協働して取り組むための研究・教育を行うことで、課題の解決に資することができる人材を養成する】ことを目的として令和5年4月に設置された。その目的を達成するために、以下の取り組みを行った。

##### 1. 入学者の確保

政策デザイン学科の紹介ホームページ、オープンキャンパス、紹介パンフレットなどを通して、(1)「公共行政」「経済産業」「市民社会」の3領域からなる領域専門科目を通して、経済や政策立案に関する幅広い見識と、それを実社会で実践できる能力をバランスよく学べること、(2)実際の社会の多様性・複雑さを知るとともに、課題解決に取り組む先人達の考え方や実践に触れるため、多様な実習型授業を設けていること(3)中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(公民)の資格を取得できることなどの教学内容、及びアドミッションポリシー、履修モデルなどの説明を行った。その結果、入学定員145名に対して730名の志願者数を集めることができ、入学者は156名となった。次年度も入学志願者の更なる上積みを目指し、さらなる広報活動の充実を図っていく。

##### 2. 1年次配当科目の実施

1年次配当科目には、それぞれの学年の専門的な学びの基盤となりかつ中心的な位置を占める科目を配置した「専門基盤科目」、「公共行政」「経済産業」「市民社会」の3領域から構成され、経済や政策立案に関する幅広い見識と、それを実社会で実践できる能力をバランスよく学べる「領域専門科目」、学生が主体となる学びの科目群及び特殊科目を配置した「演習・実習・特殊科目」がある。

専門基盤科目については、本学科の養成する人材像に資する基礎的素地を養うため、1年次に「経済学Ⅰ」「経済学Ⅱ」(経済学Ⅱは後期開講)を配置することで、経済学の基礎理論を身に付け、学科の学びの土台を強固なものにする。また、政策の立案及び遂行に関わる幅広い分野の基礎を身に付けるために「SDGs概論」を配置し、地球規模の喫緊の課題である持続可能な発展の実現に向けた具体的な課題を、私たちが暮らす社会と関連付けて考察できる感性と教養を涵養する。また、「公共経営論」(後期開講)では、社会問題の解決に向けた様々な主体の経営の可能性と課題に重点を置いた事業経営の基礎を修得する。

専門領域科目の「公共行政」領域は、いかなる人も福祉や社会保障から排除されることのない社会の実現に向けて不可欠な学問分野で構成されており、「社会保障論」で社会保障とはそもそも何なのかを理解すると同時に、それを支える財政について「財政入門」(後期開講)で学修する。また、私たちの生活と政治が切り離して考えられない身近な存在であることを「政治学入門」(後期開講)を通して理解する。「経済産業」領域は、経済学分野を基盤に、グローバルな視野で地域の問題の把握と解決を目指す点に特徴があり、1年次に配置している「地域産業論」「金融入門」(金融入門は後期開講)を通して学びの土台を強固にする。「市民社会」領域は、地域の担い手の多様性に重点を置き、多様であるがゆえの問題に正面から向き合い、解決の道を実直に探究する領域であり、「現代社会問題論」「日常生活とジェンダー」(日常生活とジェンダーは後期開講)を配置し、基礎的な知識と感性を身に付ける。

演習・実習・特殊科目としては、1年次に「基礎演習」を配置し、基本的なデータベースの使い方や資料の探し方も含めて演習方式で学ぶ。

##### 3. 2年次配当科目の実施

2年次配当科目には、1年次と同様に、それぞれの学年の専門的な学びの基盤となりかつ中心的な位置を占める科目を配置した「専門基盤科目」、「公共行政」「経済産業」「市民社会」の3領域から構成され、経済や政策立案に関する幅広い見識と、それを実社会で実践できる能力をバランスよく学べる「領域専門科目」、学生が主体となる学びの科目群及び特殊科目を配置した「演習・実習・特殊科目」、そして「専門関連科目」がある。

専門基盤科目では、「政治経済学Ⅰ」「政治経済学Ⅱ」を配置し、資本主義という経済体制のあり様を、また、「地域社会論」と「共同体と市民社会」を配置し、政策デザイン学科が掲げる公-共-私連携のあり方を教授する。その他、政策の立案及び遂行に関わる知識を涵養するために「政策形成論」「政策評価論」「福祉国家論」を配置した。加えて、高い教養と倫理性に裏打ちされた適切な判断を下し、行動できる人材の育成のために「公共哲学Ⅰ」「公共哲学Ⅱ」「企業倫理Ⅰ」「企業倫理Ⅱ」を配置した。

領域専門科目では、「公共行政」領域において、いかなる人も福祉や社会保障から排除されることのない社会を学ぶ上で不可欠な「社会保険論」を配置した。「経済産業」領域においては、「グローバル時代の労働問題入門」「国際貿易論」を配置し、グローバルな動向を把握する視野を提供する。さらに「加齢経済論Ⅰ」「地域企業経営論」で個別課題を考察する専門知識を涵養し、また、高度な地域分析技法を「地域経済データ分析」で教授する。「市民社会」領域においては、災害が多発する日本が避けて通ることのできない災害時および復旧・復興時における地域社会レベルの取り組みを学ぶために「災害社会論」を配置した。また、多文化社会を前提とした地域づくりにおいて不可欠な知識を培うために「多文化共生論」を配置した。

「演習・実習・特殊科目」としては、学生自身が問題を発見し、それがなぜ問題なのかを分析する力を涵養するために「政策デザイン実習Ⅰ」「政策デザイン実習Ⅱ」を配置する。また、宮城県内の企業や非営利団体、役所などと協働しながら学生自身が主体となって地域の問題に取り組み、解決のための方策を探究する力を養成する「特殊講義」も配置した。

専門関連科目としては、「よりよい地域」実現のための政策立案に役立つ法的知識を教授するために、「憲法Ⅰ」「憲法Ⅱ」「民法総論」を配置した。

##### 4. 3年次配当科目の実施

3年次配当科目では、「専門関連科目」ならびに「演習・実習・特殊科目」を中心に、1年次・2年次配当科目よりもより高度な科目を配置した。

「専門関連科目」は、「公共行政」「経済産業」「市民社会」の3領域から構成されている。3年次配当科目として新たに受講できる科目は、「公共行政」領域：地方財政論、格差社会論、社会福祉原論、労働政策論、環境政策論、公的扶助論、公共政策分析、福祉政策と地域、地方自治論、行政学、「経済産業」領域：加齢経済論Ⅱ、地域金融論、地域観光論、社会と開発、労働経済論、日本経済論、日本産業論、地域政策論、東北経済論、東北開発論、「市民社会」領域：ジェンダーと政策、人権政策論、災害ボランティア・NPO論、シティズンシップ論、地域防災・減災論、復興まちづくり論、障害学、災害とマイノリティ、である。

また、「演習・実習・特殊科目」においては、3年次配当科目として新たに「演習Ⅰ」と「地域プロジェクト実習」が加わる。これは、学科の基幹教員が各自の専門を活かしながら、少人数の受講生に対して知識を伝授する場であるとともに、地域のフィールド研究を活発に行う場ともなる。

なお以上のほかに、「専門関連科目」では、3年次配当科目として、行政法総論、労働法、商法、家族法を配置した。主に、公務員を目指す学生の受講を想定し、行政に必須な法律上の知識の獲得を目指す科目群である。

以上のことから、設置の趣旨・目的に関して、令和7年5月1日時点としては当初の計画を概ね遂行できていると考える。

② 自己点検・評価報告書

東北学院大学における点検・評価は、平成4年に制定された「東北学院大学点検・評価に関する規程」に基づき3年を1期のサイクルとして毎年度実施し、認証評価の年を除く3年ごとに点検・評価報告書を作成することとしている。本学は2024（令和6）年度に認証評価の受審を予定していたため、本学科も含めた全学的観点に基づく自己点検・評価報告書を2024（令和6）年度は作成していないが、2023（令和5）年度版は公表済みである。

a 公表（予定）時期

2023（令和5）年度版の自己点検・評価報告書は令和6年4月に公表済みである。

b 公表方法

大学ホームページ上に公表済みである（令和6年4月）。

③ 認証評価を受ける計画

2024（令和6）年度に大学基準協会の認証評価を受審し、2025（令和7）年3月25日付で大学基準に適合していると認定された。認定の期間は、2025（令和7）年4月1日～2032（令和14）年3月31日の7年間である。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「④ 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## ○東北学院大学FD推進委員会規程

平成15年12月22日制定第14号

## 改正

平成16年4月1日

平成17年4月1日

平成20年4月1日

平成29年3月22日改正第66号

令和2年10月14日改正第84号

令和2年12月24日改正第141号

令和5年3月8日改正第93号

## 東北学院大学FD推進委員会規程

(設置)

**第1条** 東北学院大学点検・評価に関する規程第10条に基づき、東北学院大学点検・評価委員会（以下「点検・評価委員会」という。）の下に、東北学院大学FD推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的及び定義)

**第2条** 委員会は、東北学院大学（以下「本学」という。）における各学部、教養教育センター、各研究科及び各教員の教育活動の質向上を支援し、かつ、新任教員を対象とする本学の3つのポリシー（「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受け入れの方針」）に関する研修の企画及び実施に当たることにより、教育方法の改善を図ることを目的とする。

2 この規程において、「ファカルティ・ディベロップメント（FD）」（以下「FD」という。）とは、前項の目的に従い本学の教育職員を対象とした教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の諸活動をいう。

3 前項に定めるFDの企画及び実施に際しては、東北学院大学の基本方針に掲げる教員組織の編成方針及び教育活動の基本方針に従い、本学教員の人材を育成し、その能力向上に資することを主眼としなければならない。

(審議、検討事項等)

**第3条** 委員会は、前条第1項の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議及び検討し、その実施に当たる。

- (1) 各学部、教養教育センター及び各研究科におけるFDへの取組状況に関する報告を聴取し、FDの推進に向けて必要な改善の指針を提示すること。
  - (2) FDに関する学内外の情報を収集し、その分析によって得られた知見を、各学部、各研究科及び各教員に提供して、FDの推進を促すこと。
  - (3) FDに関する講演会、研修会等を企画及び実施すること。
  - (4) その他FDに関すること。
- 2 委員会は、学内の関係各部局に対し、前項に掲げる事項の審議に必要な資料の提出を求めることができる。
- 3 委員会は、毎年度その活動の状況を点検・評価委員会に報告するものとする。

(組織)

**第4条** 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長（学務担当）及び副学長（点検・評価担当）
  - (2) 各学部及び教養教育センターから1名ずつ選出された教員
  - (3) 各研究科から1名ずつ選出された教員
  - (4) 高等教育開発室長及び高等教育開発室副室長
  - (5) 教育総合研究所長
  - (6) 学務部長
  - (7) その他委員長が必要と認めた者
- 2 委員会に委員長を置き、副学長（学務担当）をもって充てる。
- 3 委員長は、必要に応じて、委員以外の者を委員会に陪席させることができる。
- 4 委員会は、必要に応じて、小委員会又は作業部会を設けることができる。

(委員の任期)

**第5条** 第4条第1項第2号及び第3号に掲げる委員（以下「選出委員」という。）の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、選出委員が任期途中で欠けた場合に新しく選出される後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会の招集及び議事)

**第6条** 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長により指名された委員が委員長の職務を代行する。

- 2 委員長は、委員総数の3分の1以上に当たる委員から要請を受けた場合は、速やかに委員会を開

催しなければならない。

3 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

4 委員会の審議事項は、出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは議長の決するところによる。

(事務)

**第7条** 委員会の事務は、学務部学修支援課において処理する。

(改廃)

**第8条** この規程の改廃は、点検・評価委員会の発議に基づき、教授会及び大学院委員会の議を経て学長が行い、理事会の承認を得るものとする。

**附 則**

1 本規程は、平成15(2003)年12月22日から施行する。

2 第6条第1項の規定にかかわらず、平成15(2003)年度に選出された委員の任期は、平成18(2006)年3月末日とする。

**附 則** (平成16年4月1日)

本規程は、平成16(2004)年4月1日から施行する。

**附 則** (平成17年4月1日)

本規程は、平成17(2005)年4月1日から施行する。

**附 則** (平成20年4月1日)

本規程は、平成20(2008)年4月1日から施行する。

**附 則** (平成29年3月22日改正第66号)

この規程は、平成29(2017)年4月1日から施行する。

**附 則** (令和2年10月14日改正第84号)

この規程は、2020年10月14日から施行し、2020年4月1日から適用する。

**附 則** (令和2年12月24日改正第141号)

この規程は、2020年12月24日から施行する。

**附 則** (令和5年3月8日改正第93号)

この規程は、2023年4月1日から施行する。